内容一覧

反射原稿の取り込み方法

反射原稿の取り込みの流れ 8

反射原稿のセット 11

使用できる原稿 13

EPSON TWAIN の起動 15

反射原稿の取り込みモード選択 17

全自動モードでの取り込み 18

マニュアルモードでの取り込み 21

スキャナビボタンでの取り込み 25

透過原稿（フィルム）の取り込み方法

透過原稿の取り込みの流れ 28

透過原稿ユニットの取り付け 29

GT-7200U の場合 29
GT-8200UF の場合 29
GT-8200U の場合 30

使用できるフィルム 32

35mm ストリップフィルムのセット 33

GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時） 33
GT-8200UF の場合 34
GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時） 36

35mm スライドフィルムのセット 38

GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時） 38
GT-8200UF の場合 39
GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時） 41

120 / 220 フィルムのセット 42

4 x 5 インチフィルムのセット 44

EPSON TWAIN の起動 46

透過原稿の取り込みモード選択 48

全自動モードでの取り込み 49

マニュアルモードでの取り込み 52

スキャナビボタンでの取り込み 56

スキャナビボタンの仕組み 56
スキャナビボタンを使用して取り込む手順 56

取り込んだ画像の保存 59

目的別の取り込み

出力サイズを指定して取り込もう 61

写真をきれいに取り込もう 65

ハイライトを調整しよう 68

シャドウを調整しよう 70

中間部分（ミッドトーン）を調整しよう 72

グレーバランスを調整しよう 74

濃度を調整しよう 76

色を鮮やかにして取り込もう 77

特定の色の濃度を補正して取り込もう 79

文字原稿の認識率を上げて取り込もう 81

取り込み設定を保存しよう 84

必要なフィルムだけを取り込もう 88

全自動モードの設定を変更しよう 90

取り込み範囲を調整して取り込もう 92

ドライバ&ユーティリティ

システム条件 95

Windows 98 95
Windows Me 95
Windows 2000 95
Macintosh 96

基本設定 97

イメージタイプ 104

出力機器 111

イメージ制御 114

カラー調整 117

濃度補正 119

濃度補正のメリット 119
各項目の説明 120

環境設定 123

プレビュー 123
カラー 123
その他 125

設定保存 126

TWAIN ドライバの削除 128

Windows 98 / Me の場合 128
Windows 2000 の場合 130
Macintosh の場合 133

最新の EPSON TWAIN 入手方法 136

メイン画面 137

起動するアプリケーションを設定する 138

コピー 139

E メール 141

OCR 143

文字認識の流れ 143

アプリケーション 145

カード、カレンダー 147

Web 149

ファイル保存 151

DPE 153

EPSON SMART PANEL の削除 154

Windows の場合 154
Macintosh の場合 154

その他の情報

スキャナビボタンについて 156

ボタンを使ってできること 156
スキャナビボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合 157

スキャナとカメラについて 159

ディスプレイについて 162

ディスプレイの表示色の設定 162
ディスプレイの調整方法 163

解像度について 165

USB について 167

複数の USB 機器を接続する方へ 167
USB ケーブルについて 167
USB の基礎知識 168

色について 169

カラーイメージングシステムについて 171

トラブルシューティング

スキャナ本体の動作確認 173

電源がオンにならない 174

漏洩電流について 174

電源オンでエラーになる 175

スキャナが認識されない 176

EPSON TWAIN を起動できない 177

エラーが出て画像が取り込めない 179

取り込み時に時間がかかる 181

ボタンを押しても動作しない 182

ボタンを押したときの動作が違う 184

プレビュー画像の色がおかしい 185

画像がぼけている・ゆがんでいる 187

点がいくつか現れるだけで画像にならない 188

画像が暗い、細部が表現されない、裏写りする 189

画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる 190

画像が画面に大きく表示される 191

画像の色が原稿と違う 192

文字原稿の認識率がよくない 193

ディスプレイと印刷結果の色が合わない 194

エラーメッセージが表示されて画像を取り込めない 195

原稿種で「透過原稿 -XX」を選択できない 196

フィルムの取り込みで画像がおかしい 197

ネガフィルムのプレビュー画像が粗い 199

取り込みで色付きの縞模様が生じる 200

取り込み時のエラー一覧 201

ユーザーズガイドの削除方法 202

Windows の場合 202
Macintosh の場合 203

本機のメンテナンス 204

本体の清掃 204
スキャナスタンドで保管する（GT-7200U のみ） 204
蛍光ランプが切れたときの対応方法 204
故障のとき 204

本機を輸送するときは 206

各部の名称と働き 207

前面 207
背面 208

基本仕様 209

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内 211

エプソン FAX インフォメーション 211
カラリオインフォメーションセンター 211
インターネット 211
ショールーム 211
エプソンディスクサービス 211
パソコンスクール 212
保守サービス 212

修理に出すときは 213

保守サービスの種類 213

通信販売のご案内 214

ご注文方法 214
お届け方法 214
お支払い方法 214
送料 214
消耗品カタログの送付 214

商標・表記について 215

商標について 215
表記について 215

インターネット FAQ のご案内 216

インターネット FAQ 216
ナビゲーションサイト 216

本ガイドのヘルプ 217

本文中で使用している記号について 217
各ボタン、ハイパーリンクについて 217

本ガイドを印刷する際は 218

用語集 219

反射原稿の取り込み方法

反射原稿の取り込みの流れ

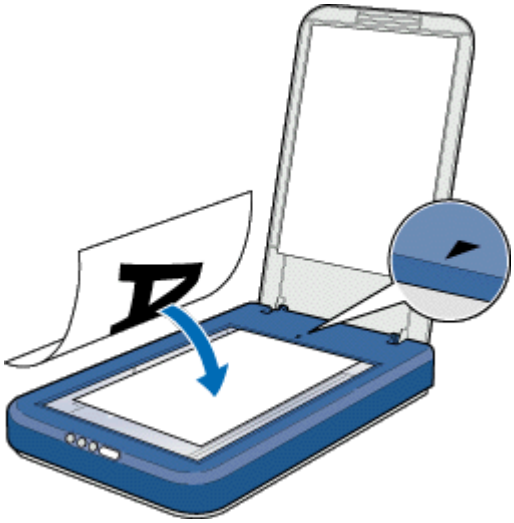
ここでは、反射原稿の基本的な取り込みの流れをご説明します。

ポイント

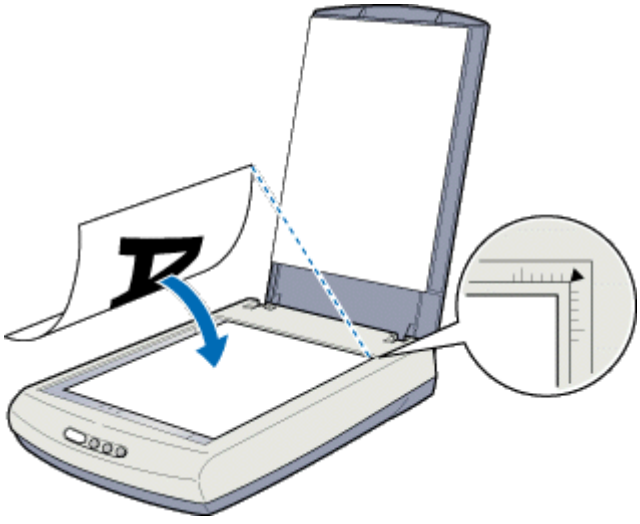
ここでは、通常の取り込みを行う際の流れだけを説明しています。実際は各ステップごとに注意しなければいけない内容がありますので、各リンク先を参照してください。

1. **取り込む原稿を用意して、本機にセットします。**

   GT-7200U **の場合**



   GT-8200U / UF **の場合**



- **「反射原稿のセット」**
- **「使用できる原稿」**

2. **TWAIN 対応のアプリケーション（PhotoImpression など）で TWAIN を起動します。**

「EPSON TWAIN の起動」

3. **全自動モードまたはマニュアルモードで取り込みます。**

「全自動モードでの取り込み」
「マニュアルモードでの取り込み」

4. **取り込んだ画像を保存します。**

「取り込んだ画像の保存」

これで基本的な取り込みの流れの説明は終了です。

TWAIN 対応アプリケーションについて

本機は TWAIN 対応機器であるため、TWAIN 対応の画像処理アプリケーションを使用して画像を取り込むことができます。

本機には、次の TWAIN 対応アプリケーションが付属していますので、目的に合わせてご利用ください。

- EPSON SMART PANEL
- ArcSoft PhotoImpression
- 読ん de!! ココ パーソナル

また、Paint Shop Pro や Imaging など、一般的な TWAIN 対応アプリケーションを使用して画像を取り込むこともできます。

TWAIN について

TWAIN とは、スキャナなどの画像入力機器と、それを制御するアプリケーションとのインターフェイス（情報のやりとり）に関する標準規格です。

TWAIN 対応のアプリケーションと、TWAIN 対応のスキャナおよび専用ドライバとの組み合わせであれば、どのアプリケーションからどの機種のスキャナでも同様の操作で扱うことができます。

EPSON TWAIN について

本機は、「EPSON TWAIN」という専用ドライバ（TWAIN 対応ドライバ）によってコンピュータから制御されます。

下図のように、TWAIN 対応アプリケーションから画像取り込みの指示をすると、EPSON TWAIN が連携して起動し、指定された条件で画像の取り込みを行います（画面はマニュアルモードで EPSON TWAIN が起動した場合の例です）。

（画像の取り込みは TWAIN 対応アプリケーションを使って行いますが、実際にスキャナを直接制御するのは EPSON TWAIN です。）

原稿をスキャナで取り込む際の各種の条件も、EPSON TWAIN の画面で設定します。

ポイント

EPSON TWAIN は、Windows、Macintosh ともに同じ手順で操作できます。本ソフトウェアガイドでは、Windows の操作を例に説明しています。

反射原稿のセット

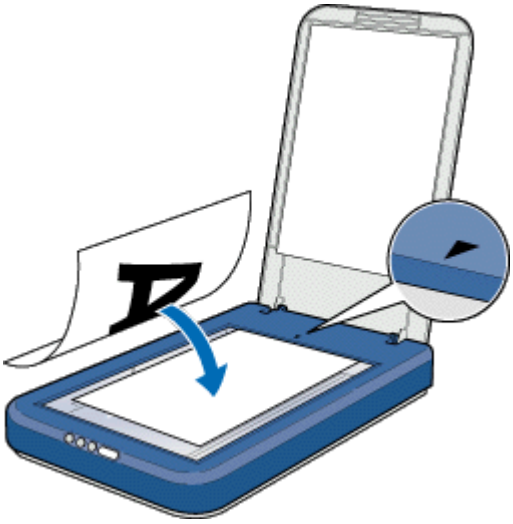
ここでは、原稿のセット方法を説明します。

注意

原稿台や原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。破損するおそれがあります。

1. **原稿カバーを開き、原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

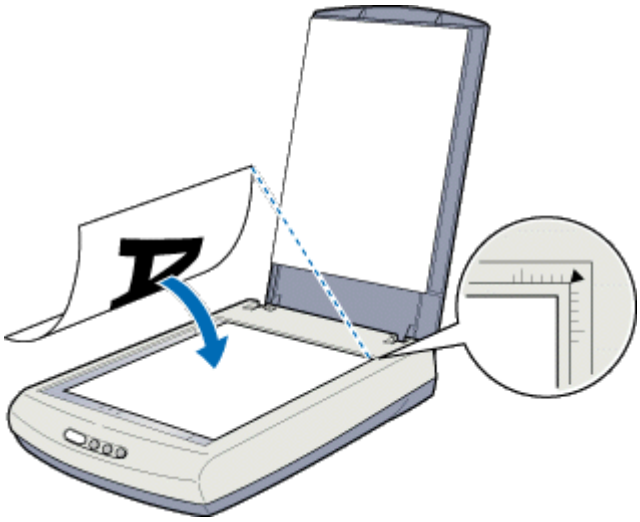
   GT-7200U **の場合、原稿台の中央に、原稿の中央を合わせてセットします。**



ポイント

原稿台の端から最大 5mm の範囲は取り込まれません。
「使用できる原稿」

GT-8200U / UF **の場合、原稿台の右上に、原稿の右上端を合わせてセットします。**



ポイント

原稿台の端から縦方向最大 2mm、横方向最大 1.5mm の範囲は取り込まれません。
「使用できる原稿」

使用できる原稿のサイズや、原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、下の「原稿台よりも大きい原稿のセット」を参照してください。

2. **原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。**

原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

ポイント

- **取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。**
- **原稿台のガラス面はいつもきれいにしておいてください。**
- **写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。**

以上で原稿のセットは終了です。

原稿台よりも大きい原稿のセット

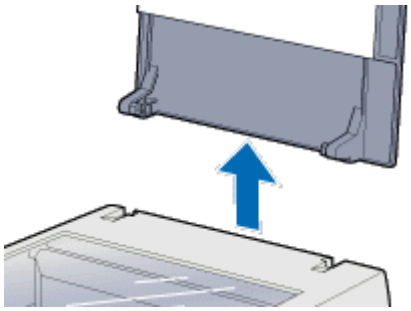
原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込むときは、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。

ポイント

- **原稿カバーを外した状態で原稿をセットするときは、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がらないようにしてください。**
- **原稿を押さえるときは、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。**

原稿カバーの取り外しと取り付け

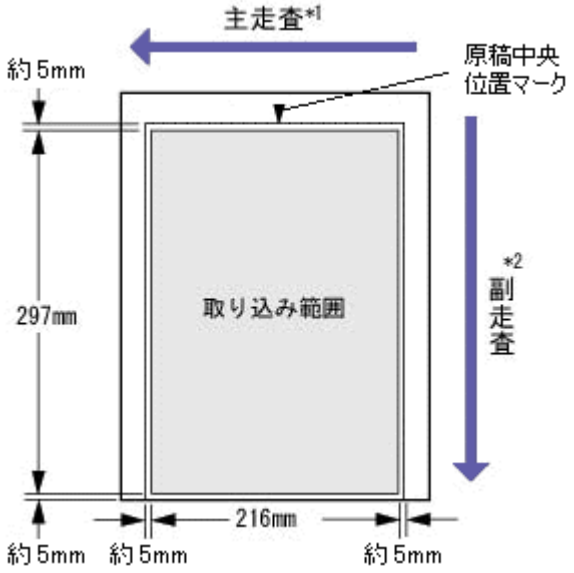
原稿カバーを取り外すときは、カバーを開けた状態で、上に引いて取り外します。
原稿カバーを取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。



使用できる原稿

GT-7200U で使用できるサイズ

最大 A4 サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。
原稿台の端から最大 5mm の範囲は取り込まれません。
（取り込み範囲を越えるサイズの原稿をセットした場合、下端および右端が黒ずむ場合があります。）



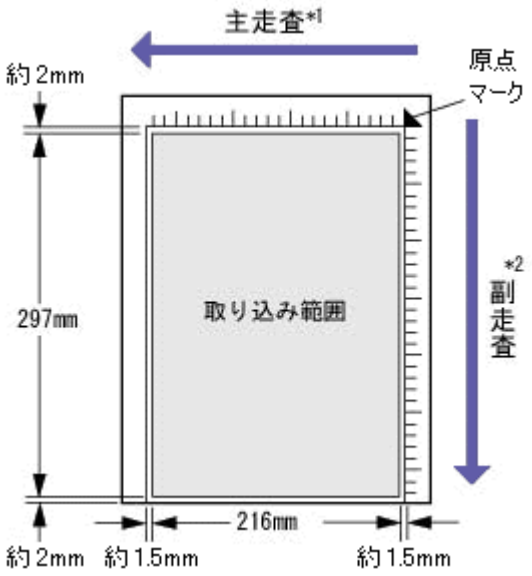
*1 主走査：キャリッジ上のセンサで読み取る画素の 1 ラインごとの読み取り方向
*2 副走査：キャリッジの移動による読み取り方向

ポイント

図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きを本機の主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

GT-8200U/UF で使用できるサイズ

最大 A4 サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。
原稿台の端から、縦方向最大 2mm、横方向最大 1.5mm の範囲は取り込まれません。
（取り込み範囲を越えるサイズの原稿をセットした場合、下端および右端が黒ずむ場合があります。）



*1 **主走査：キャリッジ上のセンサで読み取る画素の 1 ラインごとの読み取り方向**
*2 **副走査：キャリッジの移動による読み取り方向**

ポイント

- **縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。**
  - B5 （182 × 257mm ）
  - LTR （216 × 279mm 。**アメリカ合衆国で使われるレターサイズ）**
  - A4 （210 × 297mm ）
- **図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込むときは、線の向きを本機の主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。**

原稿の条件について

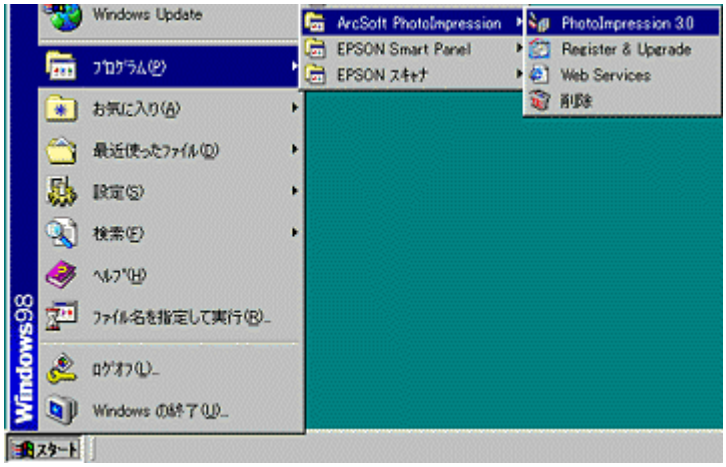
本機は反射原稿（光を反射する原稿）を取り込むイメージスキャナです。原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。以下の点にご注意ください。

- **写真、印刷物など表面が平滑な原稿を使用してください。**
- **貼り付けなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみやゆがみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。**
- OHP **シートを取り込む場合、白い背景に置いて原稿がはっきり見えるように書かれていれば、取り込むことができます。**
- **原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります。（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります）**
- **ネガフィルムやポジフィルムなどの透過原稿を取り込むには、透過原稿ユニットが必要です（**GT-8200UF **では標準装備、**GT-7200U / 8200U **ではオプション）。**

EPSON TWAIN の起動

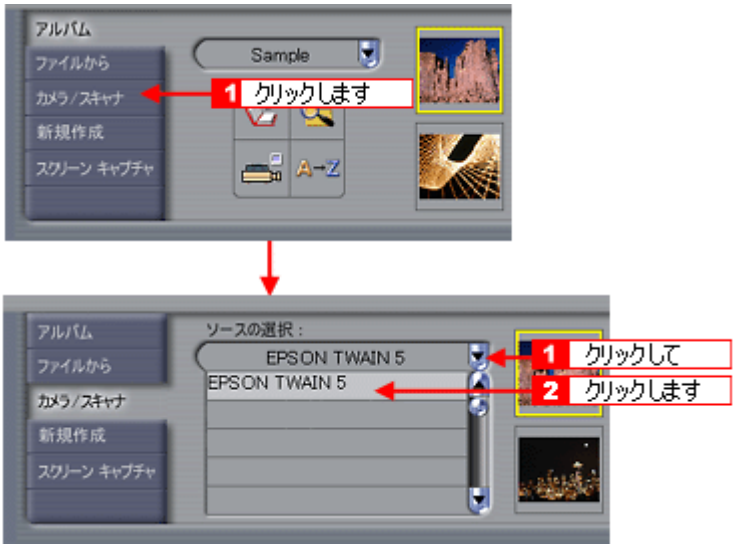
ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーション PhotoImpression を使って、EPSON TWAIN を起動する方法を例に説明します。
PhotoImpression の使い方について詳しくは、PhotoImpression のヘルプをご覧ください。

1. **PhotoImpression を起動します。**



2. **起動する TWAIN データソースを選択します。**

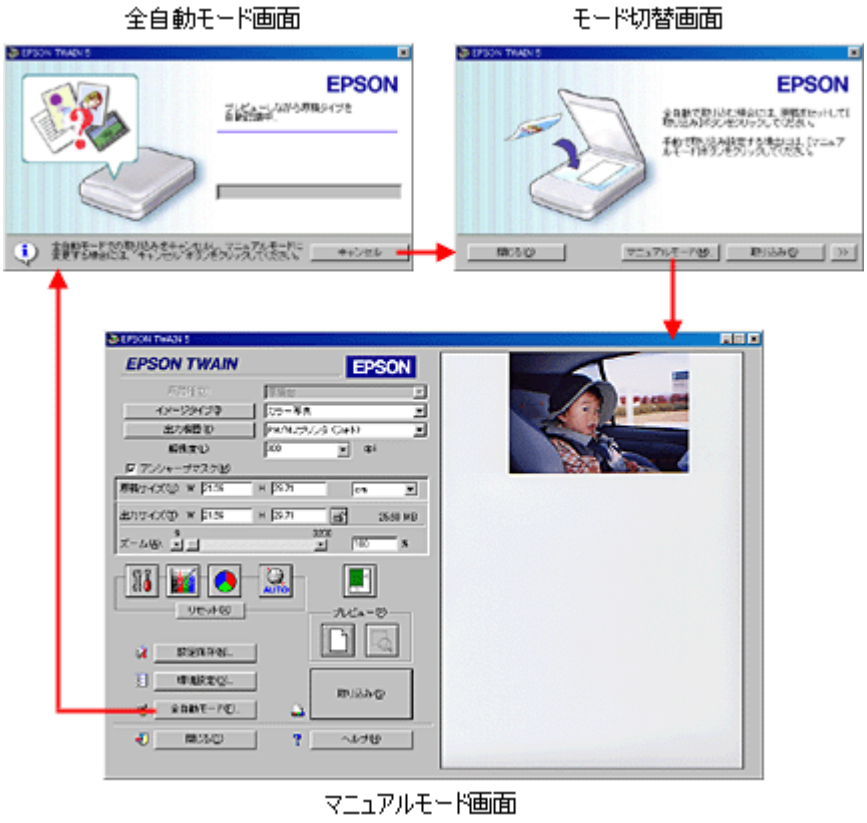
   本機で使用する TWAIN **データソースは「**EPSON TWAIN 5**」です。**



3. **EPSON TWAIN を起動します。**

4. EPSON TWAIN を起動すると、EPSON TWAIN 画面が表示されます。

EPSON TWAIN **では、「全自動モード」と「マニュアルモード」の** 2 **種類のモードが利用できます。**



ポイント

- **スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。**
- **全自動モード・マニュアルモードは、**EPSON TWAIN **の動作モードなので、**EPSON TWAIN **で設定します。**

反射原稿の取り込みモード選択

EPSON TWAIN には、「全自動」と「マニュアル」の２つの取り込みモードがあります。用途に応じて 2 つのモードを使い分けてください。

また、スキャナビボタンと EPSON SMART PANEL を使用すると、誰もが簡単にその目的に合わせた画像取り込みを行うことができます。

モード	機能	用途
全自動 「全自動モードでの取り込み」	・ 原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる ・ セットした写真が多少傾いていても、自動的に水平に補正される（傾き補正機能）	・ 詳細設定が不要な場合 ・ いろいろなタイプの原稿を続けて取り込む場合
マニュアル 「マニュアルモードでの取り込み」	・ 設定画面で、取り込み条件を手動で設定して取り込む	・ 全自動モードで原稿が認識されない場合 ・ 全自動モードで取り込んでも思い通りの画質にならない場合 ・ 取り込み条件を詳細に設定したい場合 ・ 特殊な効果をつけて取り込みたい場合など
スキャナビ 「スキャナビボタンでの取り込み」	・ ボタン一つでセットした原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる ・ 使用する目的に合った設定で、取り込まれる	・ コピー ・ Ｅ メールに画像を添付して送信する場合 ・ Ｗｅｂ 上で画像データを共有したい場合 ・ 簡単に取り込んだ画像をファイル保管したい場合など

ポイント

- スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。
- 全自動モード・マニュアルモードは、EPSON TWAIN の動作モードなので、EPSON TWAIN で設定します。

全自動モードでの取り込み

ここでは、プリントされたカラー写真の取り込み方を例に説明しますので、原稿台にカラー写真をセットしておいてください。ここでは、付属の PhotoImpression を例に説明いたします。

ポイント

初めて本機をお使いになるときは、全自動モードで画像が取り込まれます。全自動モードでは、画像取り込み（スキャン）のコマンドを実行するだけで、自動的に原稿のタイプが認識され、原稿タイプに適した設定で画像が取り込まれます。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。

ポイント

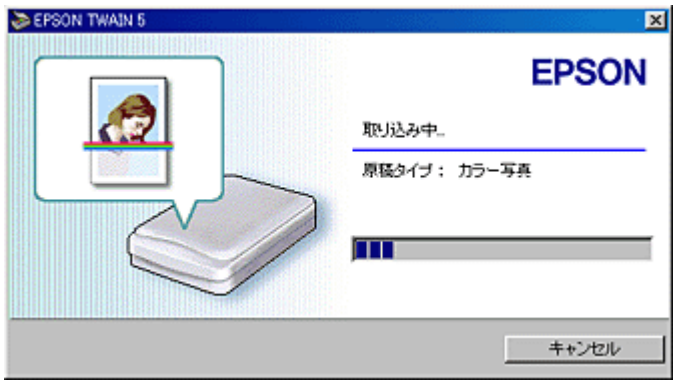
画像取り込みのコマンドは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションにより異なります。詳しくは、TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. EPSON TWAIN が起動して原稿が仮取り込み（プレビュー）され、原稿タイプが自動認識されます。

ポイント

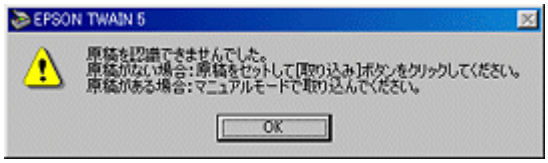
- 手順 1 の後、上記の画面でなく EPSON TWAIN 画面が表示された場合は、設定がマニュアルモードになっています。全自動モードで取り込むには、［全自動モード］ボタンをクリックし全自動モードに切り替えて、［取り込み］ボタンをクリックしてください。
- 上記の画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、モード切り替え用の画面が表示されます。この画面でマニュアルモードに切り替え、取り込み条件を手動で設定することもできます。
  また、全自動モードで取り込む原稿の種類や出力の解像度をあらかじめ設定しておくこともできます。
  「全自動モードの設定を変更しよう」
  「マニュアルモードでの取り込み」

3. 原稿タイプに適した設定で原稿が自動的に取り込まれます。



ポイント

手順 2 の後、上記の画面でなく次の画面が表示された場合は、原稿タイプが自動認識できなかったことを示します。この場合、次のいずれかの操作を行ってください。



- **原稿を確認し、再度全自動モードで画像を取り込む**
  ［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［取り込み］ボタンをクリックして、再度全自動モードで画像を取り込んでください。
- **マニュアルモードに切り替える**
  ［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［マニュアルモード］ボタンをクリックして、マニュアルモードに切り替えてください。
  「マニュアルモードでの取り込み」

4. **取り込まれた画像が、TWAIN 対応アプリケーションの画面に表示されます。**

以上で画像の取り込みは終了です。以下の説明に進みます。
「取り込んだ画像の保存」

画質が思い通りにならない場合は、マニュアルモードで取り込みをやり直します。
「マニュアルモードでの取り込み」

原稿タイプと取り込み設定

原稿は以下のいずれかのタイプとして自動認識されます。

原稿タイプ	原稿の例
カラー写真	一般的なカラー写真
白黒写真	一般的な白黒写真
イラスト	グラフ、ロゴ、地図など色数の少ないもの
文字 / 線画	文字のみの文書、塗りつぶされていない絵など
カラー書類	カラーの新聞、雑誌など
白黒書類	白黒の新聞、雑誌など

ポイント

写真を含む原稿が「カラー写真」または「白黒写真」として認識された場合は、写真だけが取り込み範囲となります。それ以外のタイプとして認識された場合は、原稿全体が取り込まれます。

原稿は、自動認識された原稿タイプに従って、それぞれ次の設定で取り込まれます。

原稿タイプ	傾き補正	アンシャープマスク	表現色	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	解像度
カラー写真	する	On	24bit カラー	Off	Off	写真	300dpi
白黒写真	する	On	8bit グレー	Off	ー	写真	300dpi
イラスト	しない	Off	24bit カラー	Off	On	書類	150dpi
文字 / 線画	する	ー	モノクロ	ー	ー	ー	400dpi
カラー書類	しない	On	24bit カラー	On	Off	書類	150dpi
白黒書類	しない	On	8bit グレー	On	ー	書類	150dpi

ポイント

- 原稿が若干傾いてセットされている場合でも、傾きが自動的に補正されて取り込まれます（「傾き補正　する」の場合のみ）。
- 全自動モードでの認識された取り込みモードでは、認識された取り込み範囲に対して、露出（明るさ）が自動的に調整されます。
- アンシャープマスクでは、画像がはっきりしていない場合に、画像をシャープにできます。
- 雑誌、カタログなどの印刷物を取り込んだ画像に、暗い斑点模様や虹のような模様が発生する場合があります。このような模様を「モアレ」といいます。モアレ除去は、モアレを軽減する機能です。
- カラースムージングでは、カラー原稿を、特定の色に減色して（割り当てて）取り込むことができます。近似色は一つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色むらを発生させません。

マニュアルモードでの取り込み

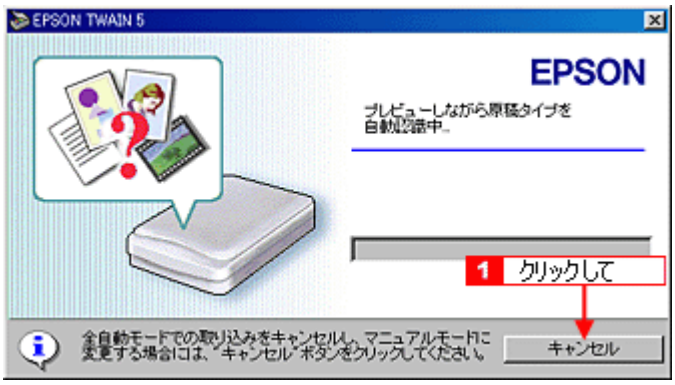
ここでは、プリントされたカラー写真の取り込み方を例に説明しますので、原稿台にカラー写真をセットしておいてください。

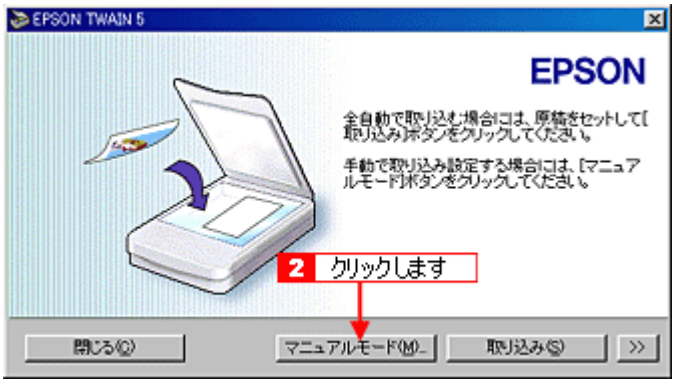
1. **TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。**

   選択方法については、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書を参照してください。
   (画面は PhotoImpresson の場合)

2. **全自動モードが起動したら、プレビューが終了する前に［キャンセルボタン］をクリックし、［マニュアルモード］ボタンをクリックします。**

   マニュアルモードが起動した場合は、手順 3 に進みます。





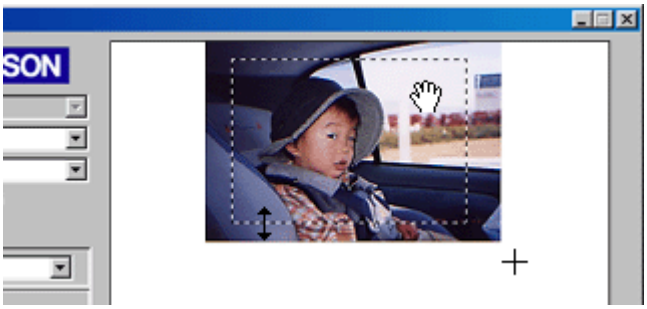
3. **EPSON TWAIN 画面が表示され、プレビューが実行されます。**

ポイント

プレビューされない場合は、ボタンをクリックしてプレビューを実行します。
プレビューを自動実行するかどうかは、［環境設定］ダイアログで設定できます。
「環境設定」

4. **取り込み範囲を設定します。**

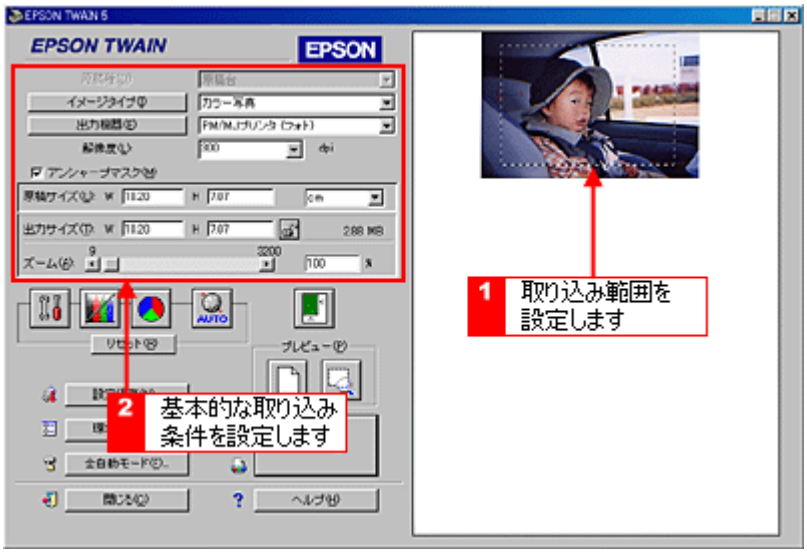
原稿の一部だけを取り込む場合は、プレビュー画像上で取り込み範囲を指定します。また、［自動範囲選択］ボタンにより、画像のある範囲を自動選択することも可能です。



＋	カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。
↕	カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより拡大 / 縮小できます（縦横比を維持するには §Shift キーを押しながらドラッグします）。
✋	カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより移動できます（縦横比を維持するには §Shift キーを押しながらドラッグします）。

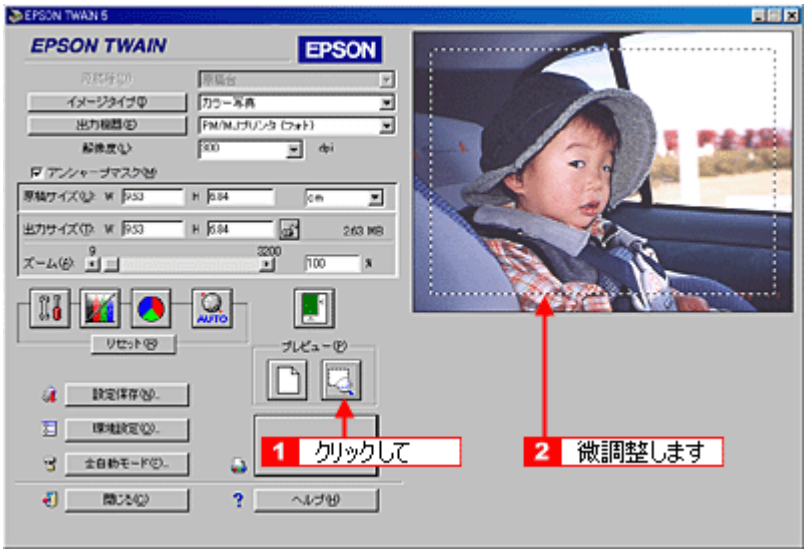
5. **基本的な取り込み条件を設定します。**

通常は取り込む原稿の種類を「イメージタイプ」に設定し「出力機器」を設定すると自動的に解像度などが設定されます。
「出力サイズを指定して取り込もう」
「基本設定」



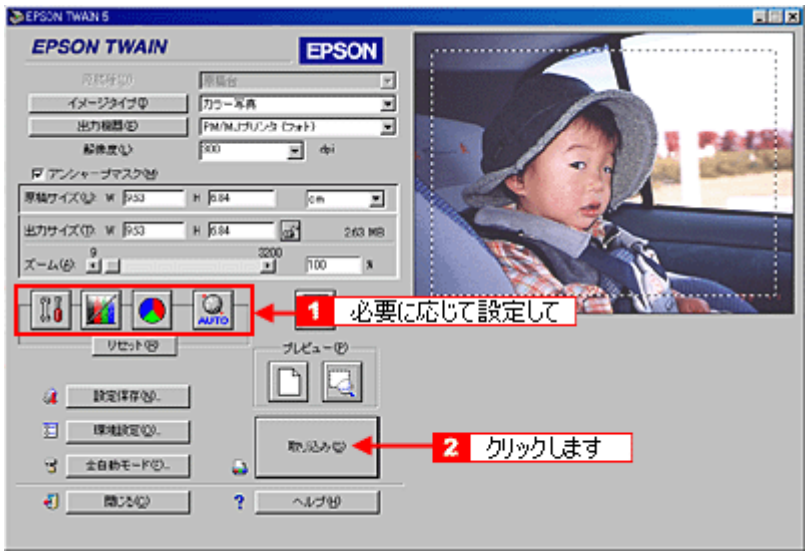
6. **［ズームプレビュー］ボタンをクリックして取り込み範囲をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。**

   初期設定では、ズームプレビュー後、自動的に露出を調整します。



7. **必要に応じ、詳細な取り込み条件を設定し、［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

   取り込んだ画像が、新規ファイルとして表示されます。（EPSON TWAIN **の後ろに隠れて見えない場合があります。）**
   「写真をきれいに取り込もう」
   「基本設定」



8. **［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN を閉じます。**

スキャナビボタンでの取り込み

スキャナビボタンの仕組み

スキャナビボタンを押すと、EPSON SMART PANEL を起動します（インストール時の標準設定）。

ポイント

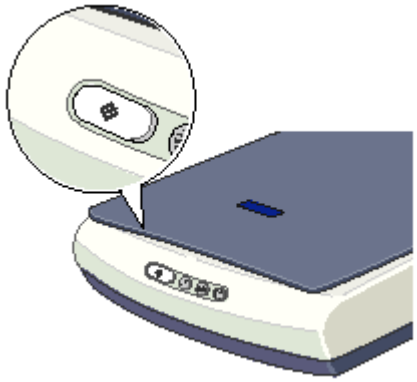
Windows の場合、イベントモニタが標準機能として組み込まれています。イベントモニタがスキャナビボタンの押下を監視しています。
設定は［コントロールパネル］-［スキャナとカメラ］で設定されています。詳しくは以下の説明をご覧ください。
「スキャナとカメラについて」

スキャナビボタンを使用して取り込む手順

スキャナビボタンを使用しての取り込みは、次の手順になります。

1. 原稿台に原稿をセットします。
2. スキャナビボタンを押します。

   イベントモニタにより、スキャナビボタンが押されたことを自動的に検知します。



ポイント

スキャナビボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合には、設定が必要です。
「スキャナビボタンについて」

3. EPSON SMART PANEL が自動的に起動しますので、使用する機能のアイコンをクリックします。

ポイント

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を、あらかじめ設定することができます。機能を設定した場合は、スキャナビボタンを押すと直接画像を取り込み、機能に対応したアプリケーションを起動します。

「メイン画面」

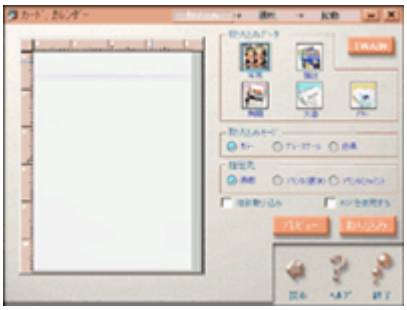
4. **EPSON SMART PANEL の各機能で画像の取り込みを実行します。**

5. **EPSON SMART PANEL で選択した機能に対応するアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作します。**

   EPSON SMART PANEL での詳しい取り込み方法については、EPSON SMART PANEL のヘルプを参照してください。

「メイン画面」

コピー選択時	E メール選択時
OCR 選択時	アプリケーション選択時

カード、カレンダー選択時	Web **選択時**
	
ファイル保存選択時	DPE **選択時**

透過原稿（フィルム）の取り込み方法

透過原稿の取り込みの流れ

ここでは、透過原稿ユニットを用いて、ポジフィルムやネガフィルムなどの取り込みの流れを説明します。
使用できる透過原稿ユニットについては、下の説明をご覧ください。

ポイント

ここでは、通常の取り込みを行う際の流れだけを説明しています。実際は各ステップごとに注意しなければいけない内容がありますので、各リンク先を参照してください。

1. **透過原稿ユニットをスキャナに取り付けます。**

   「透過原稿ユニットの取り付け」

2. **フィルムをフィルムホルダにセットします。**

   「使用できるフィルム」

3. **TWAIN 対応アプリケーション（PhotoImpression など）で TWAIN を起動します。**

   「EPSON TWAIN の起動」

4. **全自動モードで取り込むか、マニュアルモードで詳細を設定して取り込みます。**

   「全自動モードでの取り込み」
   「マニュアルモードでの取り込み」

5. **取り込んだ画像を保存します。**

   これで基本的な取り込みの流れの説明は終了です。

使用できる透過原稿ユニットについて

お使いのスキャナによって、使用できる透過原稿ユニットと、取り込めるフィルムの種類が異なります。

スキャナ型番	オプション型番	取り込めるフィルムの種類
GT-7200U	GT72FLU	35mm ストリップフィルム 35mm スライドフィルム
GT-8200UF	標準装備 （原稿カバーに内蔵）	35mm ストリップフィルム 35mm スライドフィルム
GT-8200U	GT70FLU2	35mm ストリップフィルム 35mm スライドフィルム 120 / 220 フィルム 4 x 5 インチフィルム

透過原稿ユニットの取り付け

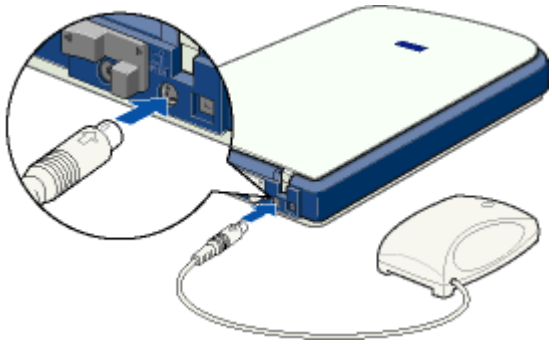
「GT-7200U の場合」
「GT-8200UF の場合」
「GT-8200U の場合」

GT-7200U の場合

1. **電源プラグをコンセントから抜いて、スキャナの電源をオフにします。**

   『スタートアップガイド』

2. **透過原稿ユニットの接続ケーブルを、スキャナに接続します。**



3. **電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナの電源をオンにします。**

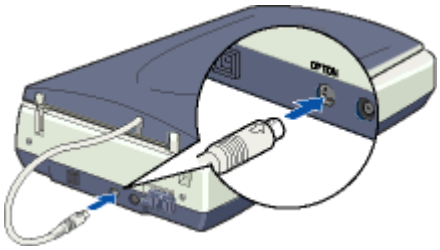
   『スタートアップガイド』

GT-8200UF の場合

1. **電源プラグをコンセントから抜いて、スキャナの電源をオフにします。**

   『スタートアップガイド』

2. **透過原稿ユニットの接続ケーブルを、スキャナに接続します。**



3. **原稿カバーを開け、保護マットを取り外します。**

4. **電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナの電源をオンにします。**

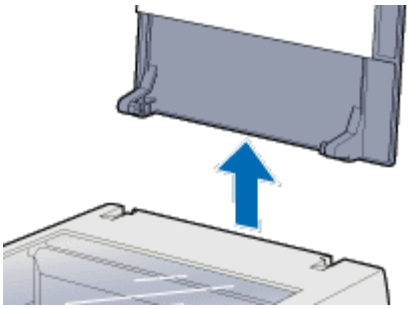
   『スタートアップガイド』

GT-8200U の場合

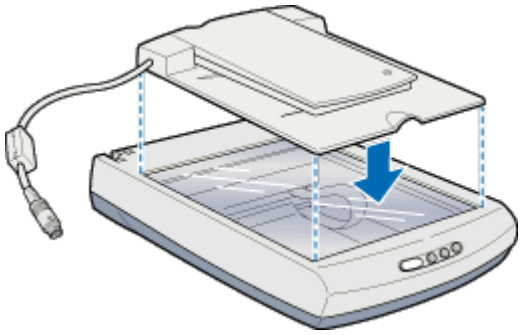
1. **電源プラグをコンセントから抜いて、スキャナの電源をオフにします。**

   『スタートアップガイド』

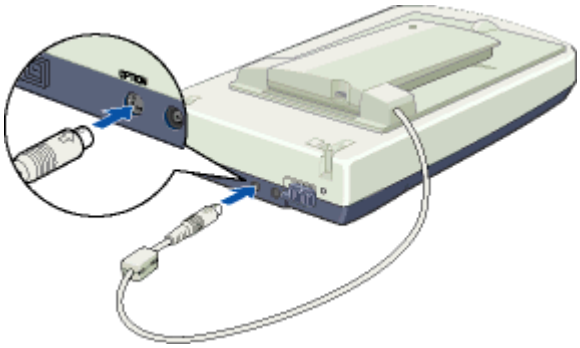
2. **原稿カバーを開け、原稿カバーを取り外します。**



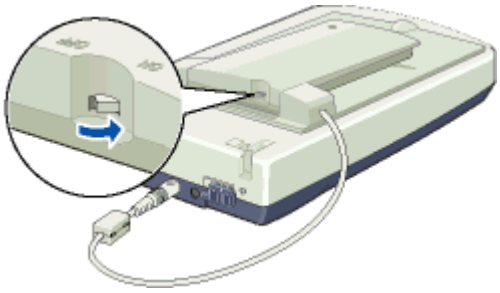
3. **原稿台に透過原稿ユニットをセットします。**



4. **透過原稿ユニットの接続ケーブルを、スキャナに接続します。**



5. **透過原稿ユニットの電源スイッチをオンにします。**



6. **電源プラグをコンセントに差し込み、スキャナの電源をオンにします。**

『スタートアップガイド』

使用できるフィルム

透過原稿ユニットにセットできるフィルムは次の通りです。お使いの機種によって使用できるフィルムが異なります。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ） 「35mm ストリップフィルムのセット」	一般の 35mm フィルムを 6 枚切りにしたフィルムのことです。 ネガフィルム：白黒が反転していて、周囲が茶色のフィルムです（普通のフィルムです）。 ポジフィルム：白黒がそのまま再現されていて、周囲が黒いフィルムです（カラースライド用のフィルムです）。
35mm スライドフィルム 「35mm スライドフィルムのセット」	スライド用に、ポジフィルムを 1 枚ずつ切ってプラスチックなどの枠に挟んだものです。マウントフィルムともいいます。
120 / 220 フィルム 「120 / 220 フィルムのセット」	中型カメラ（主にプロのカメラマンが使用）に使われる、幅 60mm のロール・フィルムのことです。120 / 220 フィルムは、中判またはブローニ判ともいいます。
4 x 5 インチフィルム 「4 x 5 インチフィルムのセット」	写真館のスタジオなどにある、蛇腹のついた大型カメラで使われるフィルムのことです。通称「シノゴ」といいます。サイズは約 104mm {4 インチ} x 約 127mm {5 インチ} です。

ポイント

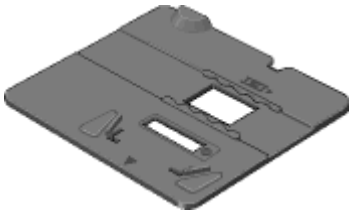
フィルムの脇に書いてあるメーカ名や数字などを正しく読める側をベース面といいます。ベース面から見ると、像が正しく見えます。
反対側を膜面といい、こちらに感光剤が塗布されています。ベース面は、膜面と比べてより光沢（つや）があります。膜面は、乳剤面またはエマルジョン面ともいいます。

35mm ストリップフィルムのセット

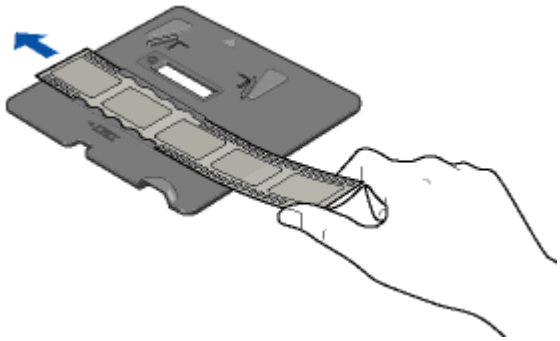
「GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時）」
「GT-8200UF の場合」
「GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時）」

GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時）

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）を取り込む場合は、次のフィルムホルダを使用します。



1. **フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。**



ポイント

フィルムは、指紋や手の油が付かないように、イラストのように端面を指で挟んで持つか、または手袋をはめて持ってください。

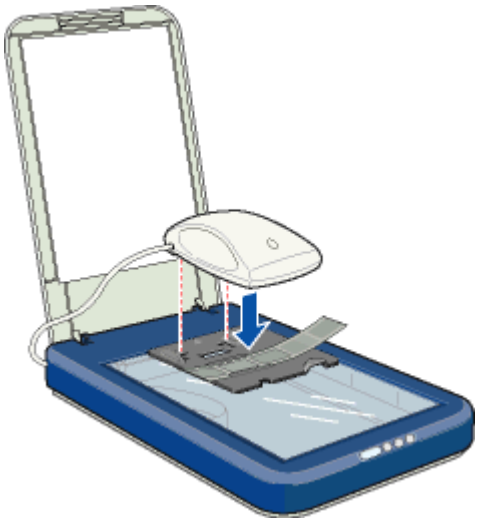
2. **原稿カバーを開け、フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。**

ポイント

フィルムホルダの上側の窓をふさがないでください。

3. **透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに置きます。**

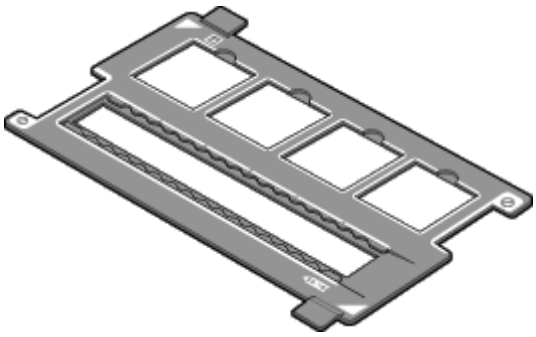
   フィルムホルダの切り抜き部分に、透過原稿ユニット底面のツメを合わせて固定します。



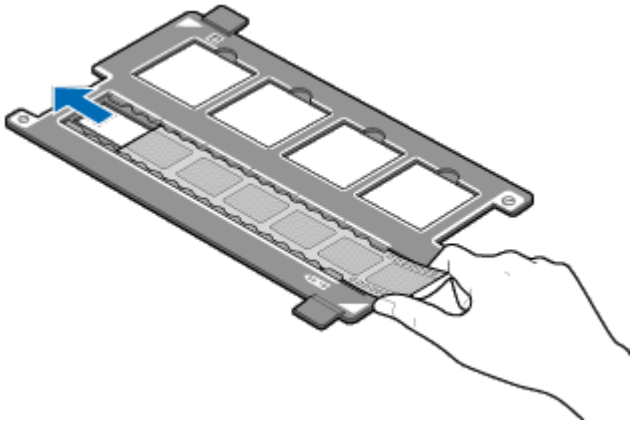
これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

GT-8200UF の場合

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）を取り込む場合は、次のフィルムホルダを使用します。



1. **フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。**

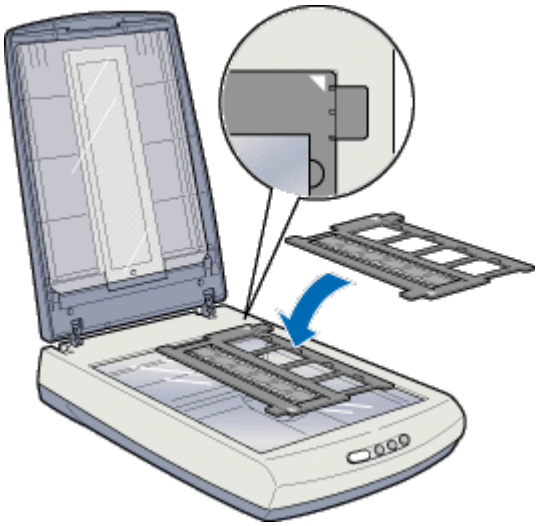


ポイント

- フィルムの下側が、フィルムホルダに表示されている番号側になるようにセットしてください。
- フィルムは、指紋や手の油が付かないように、イラストのように端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。

2. **原稿カバーを開け、フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。**

35mm **ストリップフィルムが、原稿台の中央になるようにセットします。**



ポイント

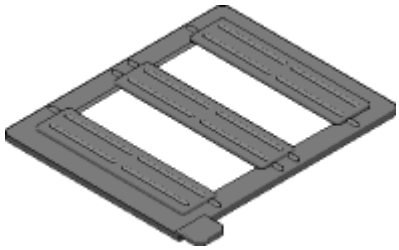
フィルムホルダの上側の窓をふさがないでください。

3. 透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに閉じます。

これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

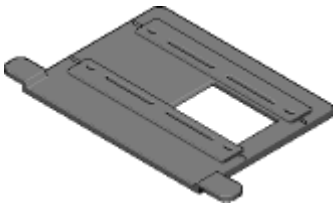
GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時）

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）を取り込む場合は、次のフィルムホルダを使用します。

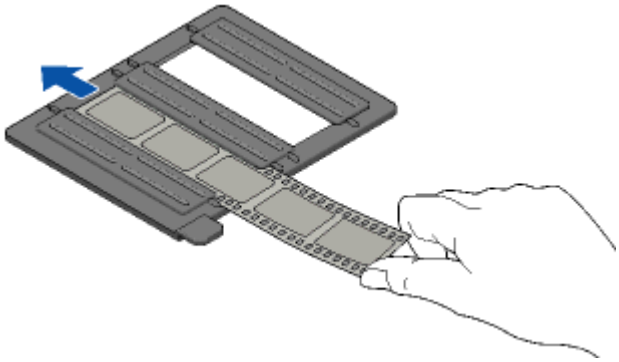


ポイント

透過原稿ユニット（GT70FLU2）に同梱されている、次のフィルムホルダは使用できません。



1. フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



ポイント

フィルムは、指紋や手の油が付かないように、図のように端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。

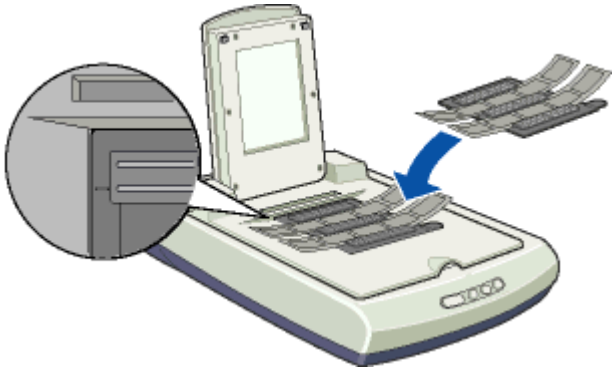
2. **透過原稿ユニットのカバーを開けます。**

   イラストのように手で押さえながら開け閉めしてください。

ポイント

透過原稿ユニットのカバーを勢いよく開け閉めしないでください。

3. **フィルムホルダの角を、原稿台の左上に合わせてセットします。**



ポイント

透過原稿ユニットの小さな開口部には、物を置かないでください。

4. **透過原稿ユニットのカバーを、フィルムが動かないように静かに閉じます。**

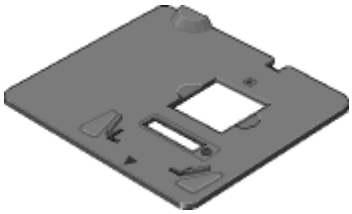
   これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
   「EPSON TWAIN の起動」

35mm スライドフィルムのセット

「GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時）」
「GT-8200UF の場合」
「GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時）」

GT-7200U の場合（GT72FLU 使用時）

35mm スライドフィルムを取り込む場合は、次のフィルムホルダを使用します。



1. **原稿カバーを開け、フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。**

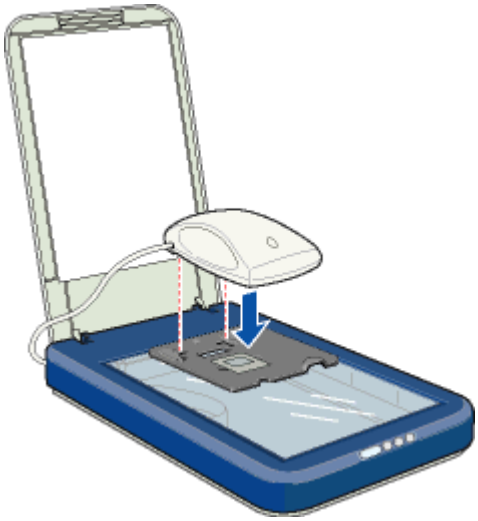
ポイント

フィルムホルダの上側の窓をふさがないでください。

2. **フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。**

3. **透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに置きます。**

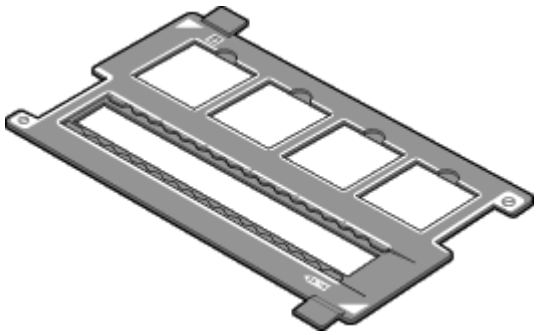
   フィルムホルダの切り抜き部分に、透過原稿ユニット底面のツメを合わせて固定します。



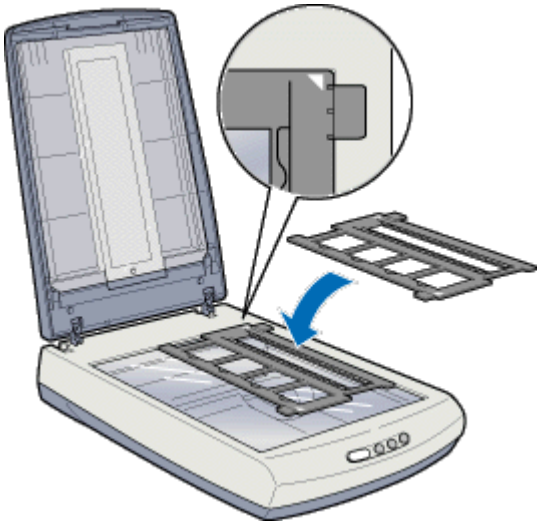
これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

GT-8200UF の場合

35mm **スライドフィルムを取り込む場合は、次のフィルムホルダを使用します。**



1. 原稿カバーを開け、フィルムホルダの角を、原稿台の右上に合わせてセットします。



2. フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。

ポイント

スライドは 2mm 以内の厚さのものを使用してください。

3. 原稿カバーをフィルムが動かないように静かに閉じます。

これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

GT-8200U の場合（GT70FLU2 使用時）

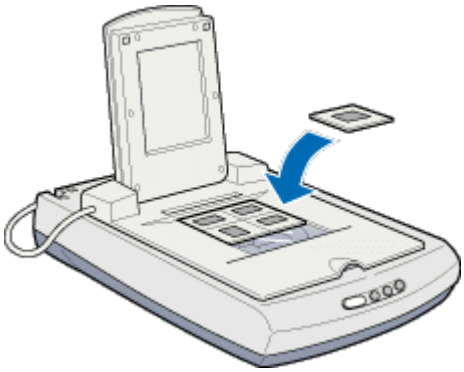
1. **透過原稿ユニットを開けます。**

   イラストのように手で押さえながら開け閉めしてください。

ポイント

透過原稿ユニットを勢いよく開け閉めしないでください。

2. **フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。**



ポイント

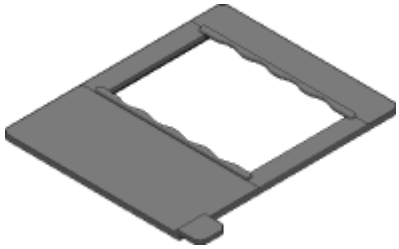
スライドは 2mm 以内の厚さのものを使用してください。

3. **透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに閉じます。**

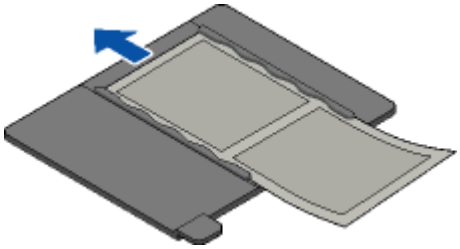
   これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
   「EPSON TWAIN の起動」

120 / 220 フィルムのセット

GT-8200U で GT70FLU2 を使用した場合、120 / 220 フィルムの取り込みが行えます。
フィルムを取り込む場合は、以下のフィルホルダを使用します。



1. フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



ポイント

フィルムは、指紋や手の油が付かないように、図のように端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。

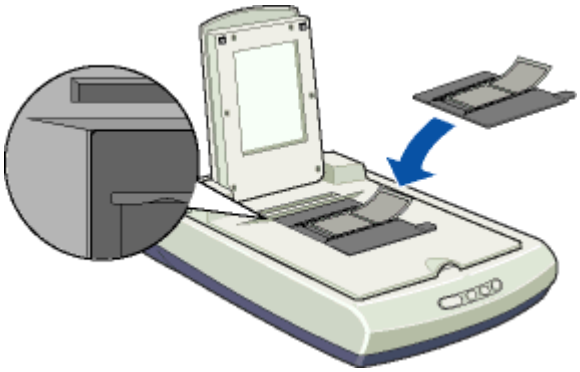
2. 透過原稿ユニットを開のカバーを開けます。

   イラストのように手で押さえながら開け閉めしてください。

ポイント

透過原稿ユニットのカバーを勢いよく開け閉めしないでください。

3. フィルムホルダの角を、原稿台の左上に合わせてセットします。



ポイント

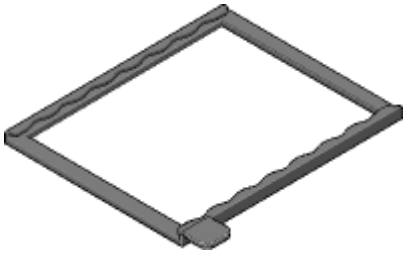
透過原稿ユニットの小さな開口部には、物を置かないでください。

4. **透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに閉じます。**

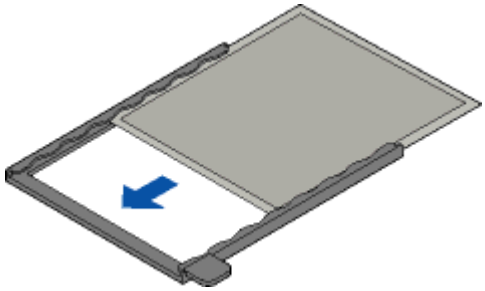
これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

4 x 5 インチフィルムのセット

GT-8200U で GT70FLU2 を使用した場合、4 x 5 インチフィルムの取り込みが行えます。
フィルムを取り込む場合は、以下のフィルホルダを使用します。



1. フィルムホルダに、フィルムのベース面（像が正しく見える面）を下に向けてセットします。



ポイント

フィルムは、指紋や手の油が付かないように、図のように端面を指ではさんで持つか、または手袋をはめて持ってください。

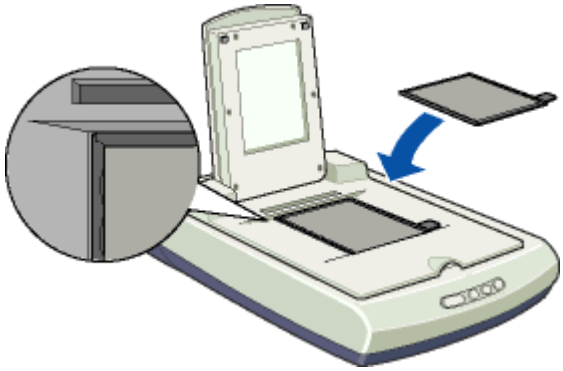
2. 透過原稿ユニットを開のカバーを開けます。

   イラストのように手で押さえながら開け閉めしてください。

ポイント

透過原稿ユニットのカバーを勢いよく開け閉めしないでください。

3. **フィルムホルダの角を、原稿台の左上に合わせてセットします。**



ポイント

透過原稿ユニットの小さな開口部には、物を置かないでください。

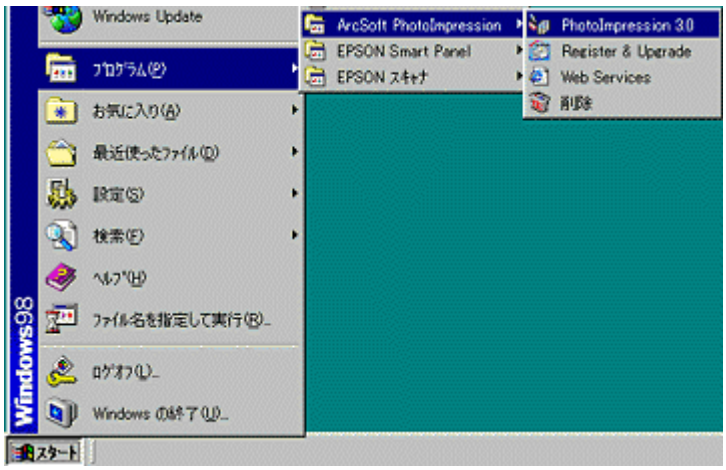
4. **透過原稿ユニットをフィルムが動かないように静かに閉じます。**

これでフィルムのセットは終了です。以下の説明に進みます。
「EPSON TWAIN の起動」

EPSON TWAIN の起動

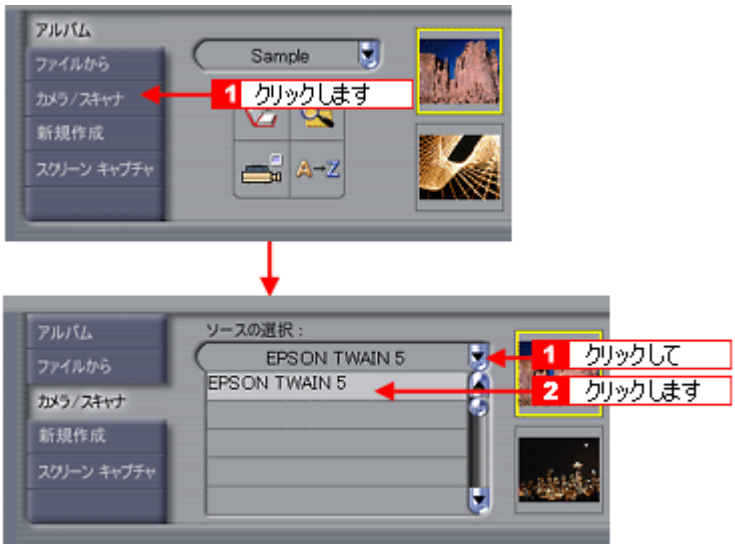
ここでは、付属の TWAIN 対応アプリケーション PhotoImpression を使って、EPSON TWAIN を起動する方法を例に説明します。
PhotoImpression の使い方について詳しくは、PhotoImpression のヘルプをご覧ください。

1. **PhotoImpression を起動します。**



2. **起動する TWAIN データソースを選択します。**

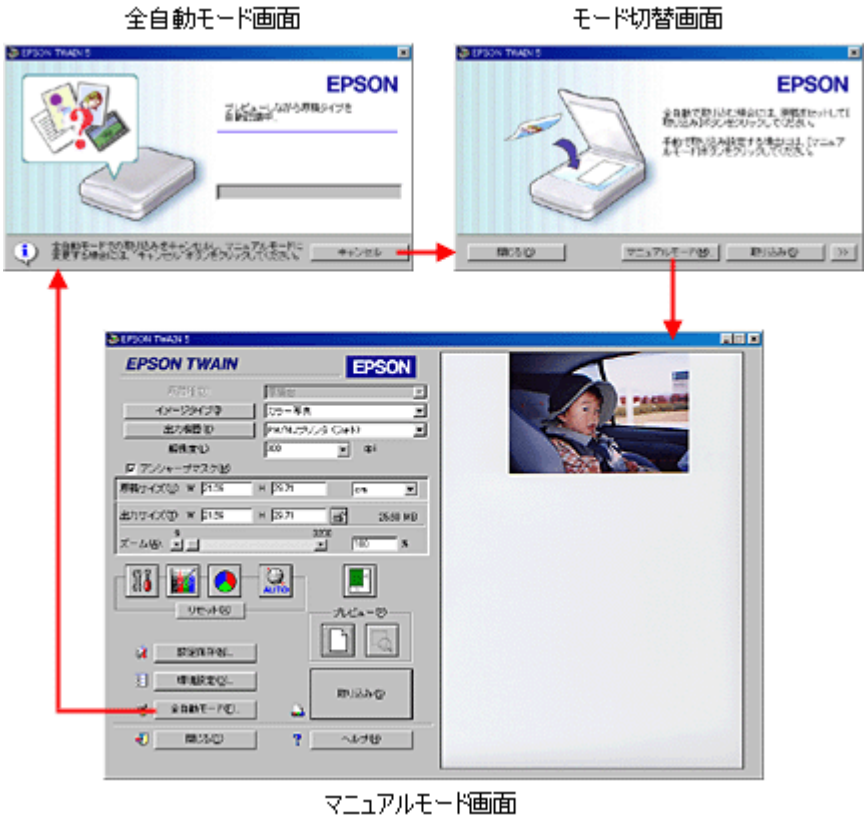
   本機で使用する TWAIN データソースは「EPSON TWAIN 5」です。



3. **EPSON TWAIN を起動します。**

4. EPSON TWAIN を起動すると、EPSON TWAIN 画面が表示されます。

EPSON TWAIN では、「全自動モード」と「マニュアルモード」の 2 種類のモードが利用できます。



ポイント

- **スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。**
- **全自動モード・マニュアルモードは、EPSON TWAIN の動作モードなので、EPSON TWAIN で設定します。**

透過原稿の取り込みモード選択

EPSON TWAIN には、「全自動」と「マニュアル」の２つの取り込みモードがあります。用途に応じて 2 つのモードを使い分けてください。

また、スキャナビボタンと EPSON SMART PANEL を使用すると、誰もが簡単にその目的に合わせた画像取り込みを行うことができます。

モード	機能	用途
全自動 「全自動モードでの取り込み」	・原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる ・複数枚のフィルムをセットした場合、まとめて読み取ることができる ・セットした写真が多少傾いていても、自動的に水平に補正される（傾き補正機能）	・詳細設定が不要な場合 ・いろいろなタイプの原稿を続けて取り込む場合 ・一度に複数枚のフィルムをセットして取り込む場合など
マニュアル 「マニュアルモードでの取り込み」	・設定画面で、取り込み条件を手動で設定して取り込む	・全自動モードで原稿が認識されない場合 ・全自動モードで取り込んでも思い通りの画質にならない場合 ・取り込み条件を詳細に設定したい場合 ・特殊な効果をつけて取り込みたい場合など
スキャナビ 「スキャナビボタンでの取り込み」	・ボタン一つでセットした原稿タイプが自動認識され、自動で画像が取り込まれる ・使用する目的に合った設定で、取り込まれる	・コピー ・Ｅメールに画像を添付して送信する場合 ・Ｗｅｂ上で画像データを共有したい場合 ・簡単に取り込んだ画像をファイル保管したい場合など

ポイント

- スキャナでの画像取り込みにあまり慣れていない方は、全自動モードでお使いになることをお勧めします。細かい設定をしなくても、適切な条件で簡単に画像を取り込むことができます。
- 全自動モード・マニュアルモードは、EPSON TWAIN の動作モードなので、EPSON TWAIN で設定します。

全自動モードでの取り込み

ここでは、カラーフィルムの取り込み方を例に説明しますので、透過原稿ユニットにカラーフィルムをセットしておいてください。
「使用できるフィルム」

ポイント

初めて本機をお使いになるときは、全自動モードで画像が取り込まれます。全自動モードでは、画像取り込み（スキャン）のコマンドを実行するだけで、自動的に原稿のタイプが認識され、原稿タイプに適した設定で画像が取り込まれます。

1. **TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。**

ポイント

画像取り込みのコマンドは、TWAIN 対応アプリケーションにより異なります。TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. **EPSON TWAIN が起動して原稿が仮取り込み（プレビュー）され、原稿タイプが自動認識されます。**

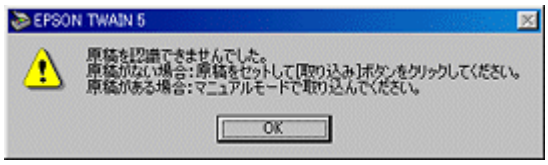
ポイント

- 手順 1 の後、[EPSON TWAIN] 画面が表示された場合は、設定がマニュアルモードになっています。全自動モードで取り込むには、[全自動モード] ボタンをクリックし全自動モードに切り替えて、[取り込み] ボタンをクリックしてください。
- 上記の画面で［キャンセル］ボタンをクリックすると、モード切り替え用の画面が表示されます。この画面でマニュアルモードに切り替え、取り込み条件を手動で設定することもできます。
  また、全自動モードで取り込む原稿の種類や出力の解像度をあらかじめ設定しておくこともできます。
  「全自動モードの設定を変更しよう」
  「マニュアルモードでの取り込み」

3. **原稿タイプに適した設定で原稿が自動的に取り込まれます。**

ポイント

- **複数の原稿を同時に取り込む場合、アイコンの上に「1 / 2」など何枚を取り込んでいるかが表示されます。**
- **手順 2 の後、上記の画面でなく次の画面が表示された場合は、原稿タイプが自動認識できなかったことを示します。この場合、次のいずれかの操作を行ってください。**



- **原稿を確認し、再度全自動モードで画像を取り込む**
  ［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［取り込み］ボタンをクリックして、再度全自動モードで画像を取り込んでください。
- **マニュアルモードに切り替える**
  ［OK］ボタンをクリックし、表示される画面で ［マニュアルモード］ボタンをクリックして、マニュアルモードに切り替えてください。
  「マニュアルモードでの取り込み」

4. **取り込まれた画像が、TWAIN 対応アプリケーションの画面に表示されます。**

以上で画像の取り込みは終了です。以下の説明に進みます。
「取り込んだ画像の保存」

画質が思い通りにならない場合は、マニュアルモードで取り込みをやり直します。
「マニュアルモードでの取り込み」

原稿タイプと取り込み設定

透過原稿を使用する場合、原稿は以下のいずれかのタイプとして自動認識されます。

原稿タイプ	原稿の例
カラーネガフィルム／ カラーポジフィルム	一般的なカラー写真

原稿は、自動認識された原稿タイプに従って、次の設定で取り込まれます。

原稿タイプ	アンシャープマスク	表現色	品質	自動露出オプション	解像度	ドロップアウト
カラーネガフィルム／ カラーポジフィルム	On	24bit カラー	高品位	写真	300dpi	ー

ポイント

- 全自動モードでの認識された取り込みモードでは、認識された取り込み範囲に対して、露出（明るさ）が自動的に調整されます。
- アンシャープマスクでは、画像がはっきりしていない場合に、画像をシャープにできます。

マニュアルモードでの取り込み

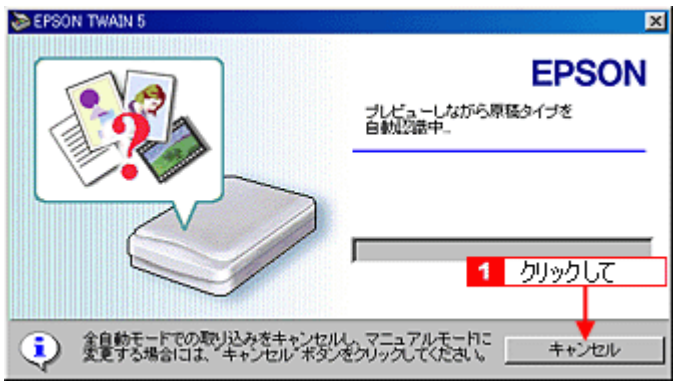
ここでは、カラーフィルムの取り込み方を例に説明しますので、透過原稿ユニットにカラーフィルムをセットしておいてください。
「使用できるフィルム」

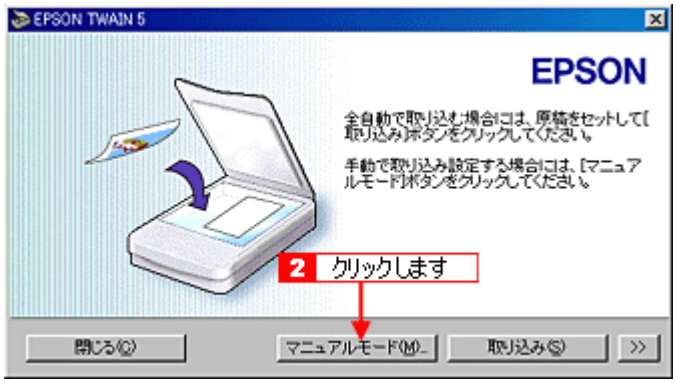
1. **TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。**

   選択方法については、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

2. **全自動モードが起動したら、プレビューが終了する前に［キャンセルボタン］をクリックし、［マニュアルモード］ボタンをクリックします。**

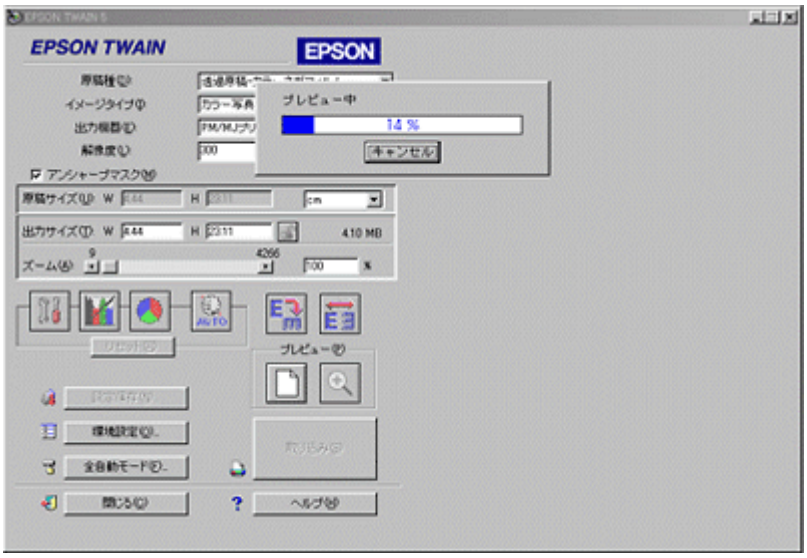
   マニュアルモードが起動した場合は、手順 3 に進みます。





3. **EPSON TWAIN が表示され、プレビューが実行されます。**

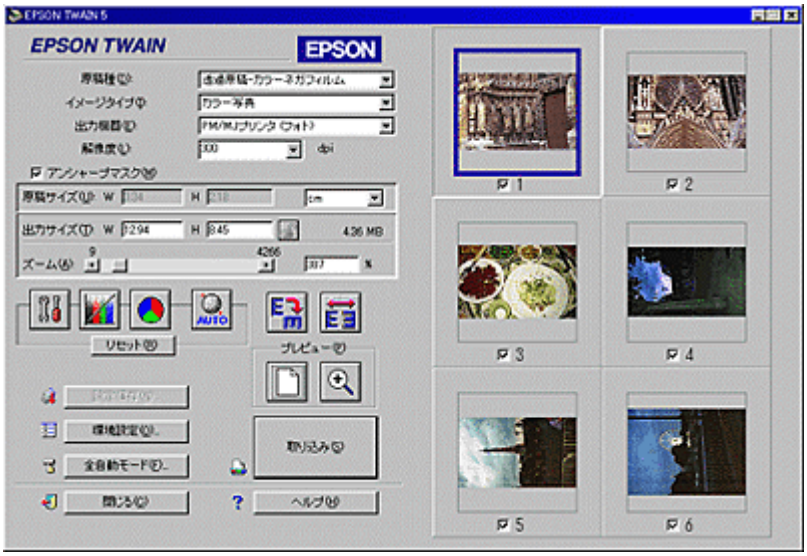
   プレビューが終了すると、画像のサムネイルが表示されます。



ポイント

プレビューされない場合は、ボタンをクリックしてプレビューを実行します。
プレビューを自動実行するかどうかは、［環境設定］ダイアログで設定できます。
「環境設定」

- **サムネイル表示された画像の 1 つをクリックすると、選択された画像に青色の枠が表示されます。**



- **［ズームプレビュー］ボタンをクリックすると選択されている画像が拡大表示され、アイコンが＋（プラス）から－（マイナス）に変わります。**
  元の画面に戻るには、［ズームプレビュー］ボタンを再度クリックします。

- 選択された画像は回転することができます。

	[90 度回転] ボタン： このボタンをクリックするたびに、選択している画像を右（時計）方向に 90 度ずつ回転できます。
	[鏡像反転] ボタン： このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。

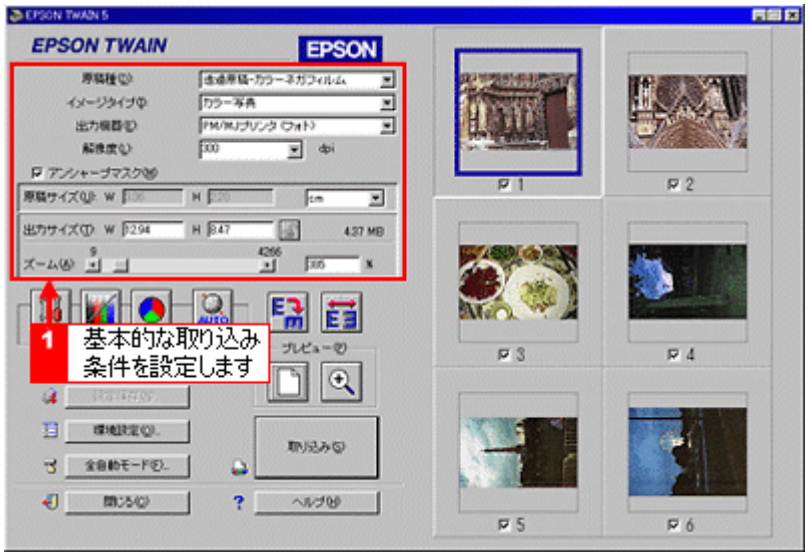
ポイント

- フィルムの一部分のみ取り込みたい場合や、サムネイルの表示がおかしい、透過原稿ユニットを選択してもサムネイル表示させたくない場合は、［環境設定］ダイアログで、「透過原稿ユニット選択時、サムネイルを表示」のチェックを外してください。
  「環境設定」

  取り込み方法は、反射原稿と同じです。
  「マニュアルモードでの取り込み」
- スキャナビボタンを使って画像を取り込むこともできます。
  「スキャナビボタンについて」
- 35mm フィルムの場合、縦置きでかつ長辺が 3.5 インチ以下と認識されると、反時計方向に 90 度回転して表示されます。

4. **基本的な取り込み条件を設定します。**

通常は取り込む原稿の種類を「イメージタイプ」に設定し「出力機器」を設定すると自動的に解像度などが設定されます。
「出力サイズを指定して取り込もう」
「基本設定」



5. **必要に応じ、詳細な取り込み条件を設定し、［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

   取り込んだ画像が、新規ファイルとして表示されます。（EPSON TWAIN の後ろに隠れて見えない場合があります。）
   「写真をきれいに取り込もう」
   「基本設定」

6. **［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN を閉じます。**

ポイント

サムネイル表示された画像は、左上から右の順に 1 からの番号がつけられます。

スキャナビボタンでの取り込み

スキャナビボタンの仕組み

スキャナビボタンを押すと、EPSON SMART PANEL を起動します（インストール時の標準設定）。

ポイント

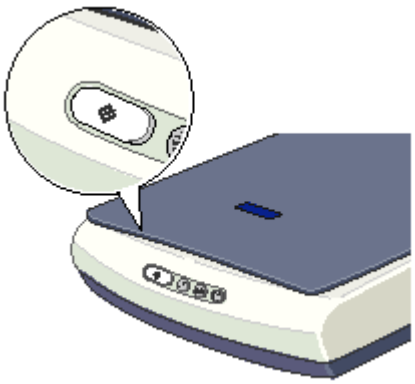
Windows の場合、イベントモニタが標準機能として組み込まれています。イベントモニタがスキャナビボタンの押下を監視しています。
イベントモニタは、Windows 98/Me/2000 の標準機能として組み込まれています。設定は［コントロールパネル］-［スキャナとカメラ］で設定されています。詳細は、以下のファイルを参照してください。
「スキャナとカメラについて」

スキャナビボタンを使用して取り込む手順

スキャナビボタンを使用しての取り込みは、次の手順になります。

1. 原稿台に原稿をセットします。
2. スキャナビボタンを押します。

   イベントモニタにより、スキャナビボタンが押されたことを自動的に検知します。



ポイント

スキャナビボタンを押しても EPSON SMART PANEL が起動しない場合には、設定が必要です。
「スキャナビボタンについて」

3. EPSON SMART PANEL が自動的に起動しますので、使用する機能のアイコンをクリックします。

ポイント

スキャナビボタンを押したときに起動する機能を、あらかじめ設定することができます。機能を設定した場合は、スキャナビボタンを押すと直接画像を取り込み、機能に対応したアプリケーションを起動します。

「メイン画面」

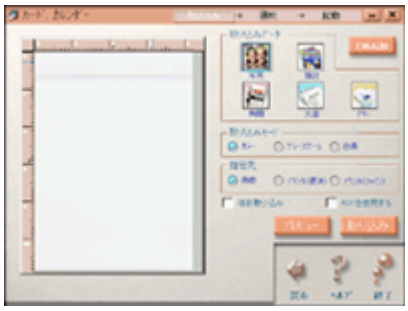
4. **EPSON SMART PANEL の各機能で画像の取り込みを実行します。**

5. **EPSON SMART PANEL で選択した機能に対応するアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作します。**

   EPSON SMART PANEL **での詳しい取り込み方法については、**EPSON SMART PANEL **のヘルプを参照してください。**

「メイン画面」

E メール選択時	DPE 選択時
アプリケーション選択時	**カード、カレンダー選択時**

	
Web **選択時**	**ファイル保存選択時**

取り込んだ画像の保存

一般的には次のような手順になります。お使いの TWAIN 対応アプリケーションによって画面や手順が異なりますので、詳しくはお使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

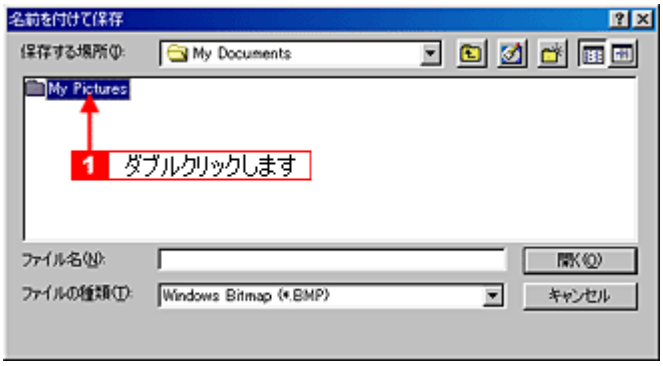
1. **TWAIN 対応アプリケーションで、保存のコマンドを選択します。**

ポイント

保存のコマンドは、一般的に［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］、［別名で保存］などです。詳しくはお使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

2. **保存するフォルダを選びます。**

   フォルダ名は覚えておいてください。（後で画像を開くときにフォルダを指定するため。）



3. **ファイル形式を選び、ファイル名を入力します。**

BMP 形式を選択した例

4. **［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。**

これで画像の取り込み・保存は終了です。

画像ファイル形式について

主なファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、形式を決めてください。
Windows では BMP 形式、Macintosh では PICT 形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

形式（拡張子）	説 明
TIFF 形式 （＊ .TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
EPS 形式 （＊ .EPS ）	ポストスクリプト形式のファイルです。ほとんどのイラストレーションソフトや、DTP ソフトが対応しています。
BMP 形式 （＊ .BMP ）	多くのアプリケーションが対応しているファイル形式（Windows のみ）です。ワープロソフトをはじめ、ほとんどの Windows 用アプリケーションが対応しています。
PICT 形式（Macintosh のみ）	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。ワープロ（Macintosh のみ）ソフトをはじめ、ほとんどの Macintosh 用アプリケーションが対応しています。
JPEG 形式 （＊ .JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択でき、かなり圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。そのため、レタッチなどの加工が前提ならば、まずは TIFF などの形式で保存してください。

目的別の取り込み

出力サイズを指定して取り込もう

例えば写真を取り込んで壁紙として利用したり、ハガキに印刷するような場合は、EPSON TWAIN（マニュアルモード）の出力サイズを指定する機能を利用すると便利です。ここでは、壁紙を作る場合を例に、出力サイズを指定して取り込む方法を説明します。

1. **本機にカラー写真をセットします。**

2. **TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。**

> ポイント
>
> 初期設定では、EPSON TWAIN の起動時に自動プレビューが行われます。もし、［環境設定］ダイアログで［TWAIN 起動時プレビューを実行］のチェックを外している場合は、まず［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビューしてください。

3. **イメージタイプや出力機器を目的に合わせて設定します。**

出力機器は、用途に応じて次のように設定してください。用途に応じた最適な解像度が自動設定されます。

画像の用途	出力機器の設定
壁紙用	スクリーン / Web
プリンタでのファイン印刷用	プリンタ（ファイン）
プリンタでのフォト / スーパーファイン印刷用	プリンタ（フォト）

4. **原稿サイズの［単位］をピクセルに設定します。**

ポイント

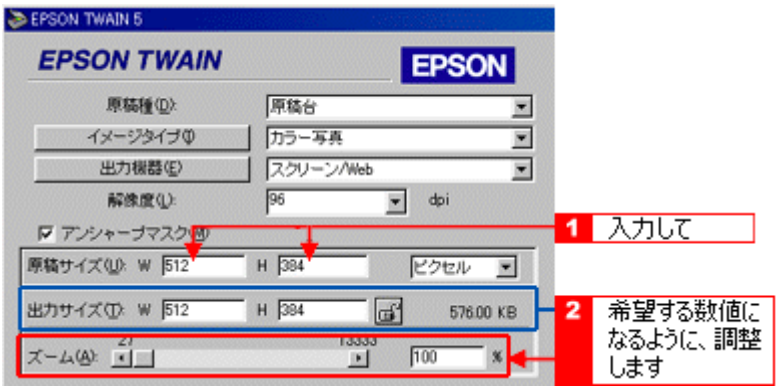
サイズの表示単位は、インチ、ピクセル、cm のいずれかを選択することができます。

5. **原稿サイズを入力し、ズームを調整して出力サイズを設定します。**

   原稿台を越えるサイズは入力できませんので、次のように原稿台に収まる数値を入力し、ズームを調整して出力サイズを設定してください。

出力サイズ	原稿サイズ（W）	原稿サイズ（H）	ズーム
1024 × 768 ピクセル	512	384	200%
800 × 600 ピクセル	400	300	200%
640 × 480 ピクセル	320	240	200%

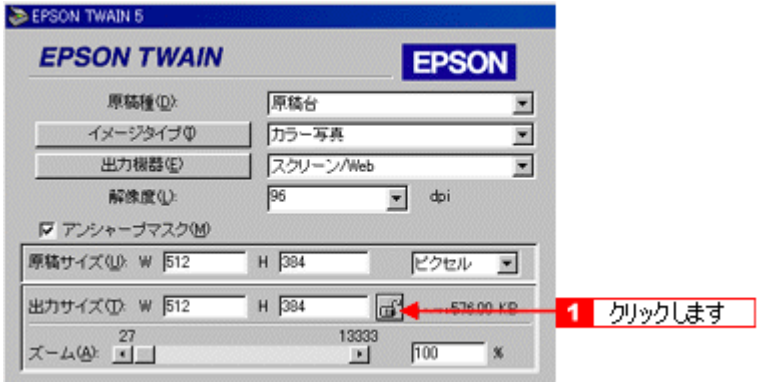
※入力した数値は、多少変動することがあります。



画面は、デスクトップ領域が 1024 × 768 ピクセルで、取り込んだ画像を画面全体に表示する場合の例です

6. **［ロック］ボタンをクリックして出力サイズをロックします。**

   出力サイズが 1024 × 768 ピクセルに近い値で固定されます。この状態のときに、取り込み範囲の縦横比を固定したまま範囲を拡大／縮小できます。



7. **取り込み範囲の枠をドラッグして範囲を拡大／縮小し、取り込む範囲を決めます。**

   取り込み範囲の中にカーソルを移動すると手の形になり、ドラッグにより移動できます。

ポイント

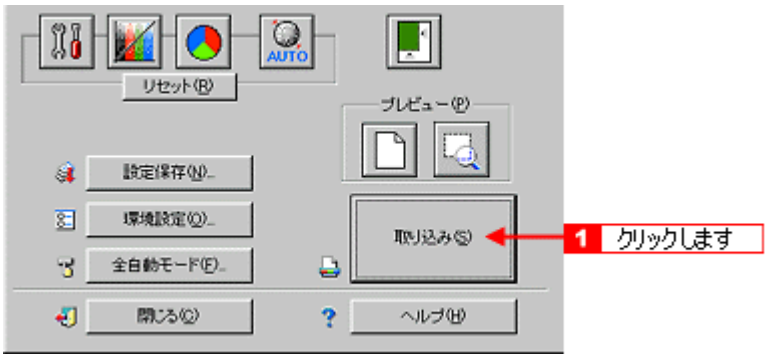
取り込む画像のサイズが決まっている場合は、取り込み範囲の幅（W）と高さ（H）の数値で指定することもできます。

8. **［ズームプレビュー］ボタンをクリックし、必要に応じて範囲を微調整します。**

   原稿が再プレビューされ選択した範囲が拡大表示されます。露出（画像の明暗）も自動調整されます。

9. **［取り込み］ボタンをクリックして画像を取り込みます。**

   指定したサイズで画像が取り込まれます。



ポイント

ここで設定した内容を、［設定保存］ボタンをクリックして保存しておくことをお勧めします。設定を保存しておけば、原稿サイズや出力サイズなどの各種設定を再利用することができます。

「設定保存」

10. **TWAIN 対応アプリケーションで画像を保存します。**

詳しくは、お使いの TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

「取り込んだ画像の保存」

ポイント

壁紙用の画像は、BMP 形式で保存してください。（アプリケーションソフトの機能を使って壁紙に設定する場合を除く）

ここで紹介した手順で取り込みを行えば、希望するサイズ / 解像度の画像ファイルを作成できます。壁紙の作成・印刷用画像の作成・ホームページ用のサムネイル画像の作成などにお役立てください。

写真をきれいに取り込もう

取り込んだ画像をフォトレタッチソフトで補正する前に、EPSON TWAIN **の画質調整機能を利用して、よりきれいなデータで取り込むのがベストです。**
ここでは、画像を きれいに取り込むための、EPSON TWAIN **での調整のポイントを紹介しています。**

明るさの調整とは

質のよい画像にするためには、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することが必要です。

画像の明るさの調整では、画像全体の明るさだけではなく、ハイライト、シャドウ、およびガンマをそれぞれ個別に調整できます。一つの画像の中で、ハイライトレベルの明るい白からシャドウレベルの黒までを適切な範囲に収めます。

●適切な画像
（ハイライトも、シャドウも適切）

●ハイライトが弱く、シャドウは適切

●ハイライトは適切、シャドウが弱い

●ハイライトもシャドウも弱い

●ガンマが暗い方向に寄っている

ポイント

- 画質調整はプレビュー画像が表示されているときに有効ですので、まずプレビューを実行してください。プレビュー画像では、調整効果をリアルタイム に確認することができます。
- 初期設定では、プレビューは高速の設定になっています。画質調整の精度を上げるには、[環境設定] ダイアログの [プレビュー] タブで [高速プレビュー] のチェックをはずしてください。プレビュー画像が高品位になります。

- 厳密な調整を行う場合は、ディスプレイを調整することをおすすめします。正しく調整されていなければ、取り込んだ画像が適切な明るさ / 色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。
  「ディスプレイについて」

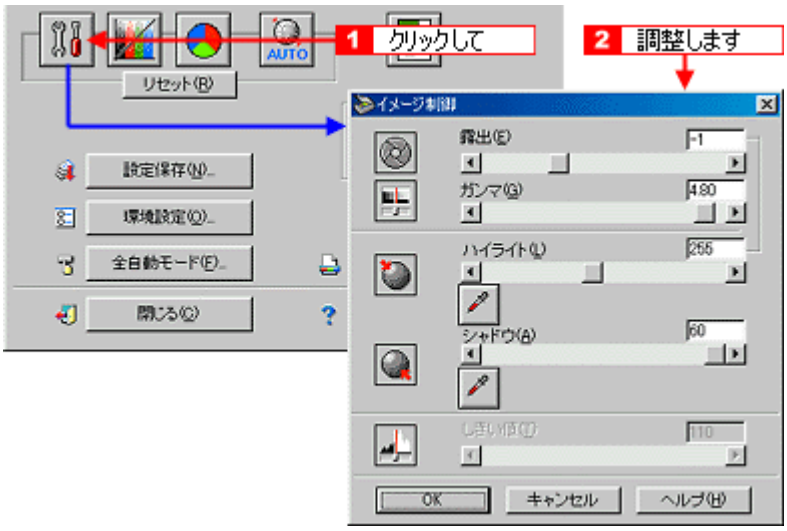
1. **TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。**

   画像の仮取り込み（プレビュー）が実行され、プレビュー画像が表示されます。

2. **［イメージ制御］ボタンをクリックし、ハイライト / シャドウ / ガンマを調整します。**

ハイライト	画像のもっとも明るい部分の色を調節します。
シャドウ	画像のもっとも暗い部分の色を調節します。
ガンマ	画像の明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、ハイライトとシャドウの中間部分（ミッドトーン）の明るさを調節します。

「ハイライトを調整しよう」
「シャドウを調整しよう」
「中間部分（ミッドトーン）を調整しよう」

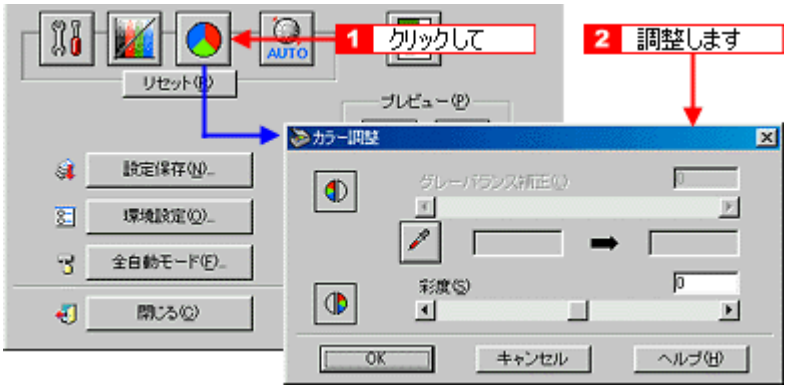


ポイント

ハイライトを調整すると、露出も連動して設定されます。

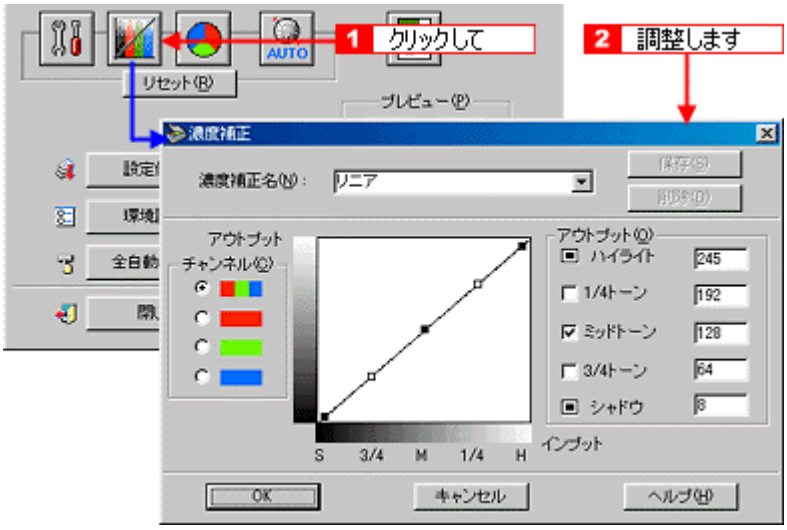
3. **［カラー調整］ボタンをクリックし、グレーバランスを調整します。**

「グレーバランスを調整しよう」



4. **必要に応じて［濃度補正］ボタンをクリックし、微妙な部分を追加補正します。**

「濃度を調整しよう」



以上で写真をきれいに取りこむ設定は終了です。ここまでの調整で、ほぼ最適な画像になっているはずです。

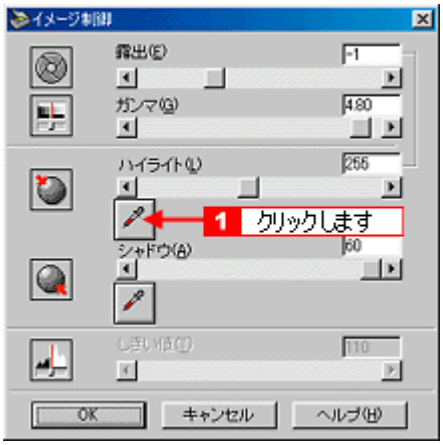
ハイライトを調整しよう

ハイライトは、［イメージ制御］ダイアログにて設定を行います。

1. **［イメージ制御］ボタンをクリックします。**

2. **ハイライトの［スポイト］アイコンをクリックします。**

   ［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］**キーを押してください。**

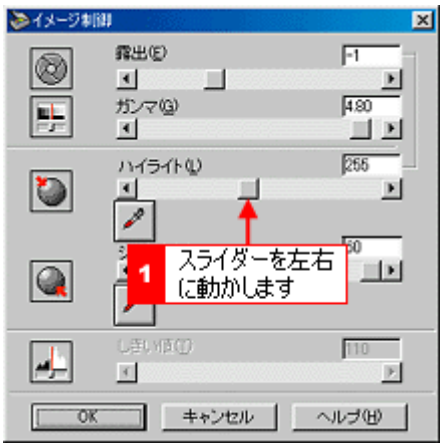


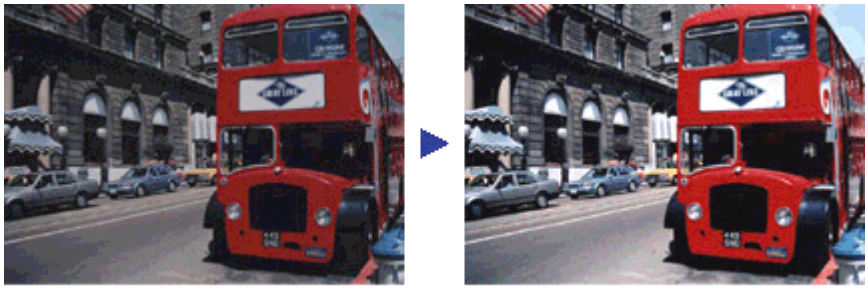
3. **画像の一番明るい部分をクリックします。**

ポイント

出力値（濃度）は 255（白）ではなく 245（やや濃度のある白）になりますので、白としてとびません。（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能）
「濃度を調整しよう」

4. **スライダーを左右に動かして、明るさを調整します。**





調整前　　調整後

ポイント

- **ハイライトを調整すると、露出も連動して設定されます。**
- **右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。**
- **シャドウの範囲は 0 ～ 60 です。**
- **ハイライトの範囲は 61 ～ 490 です。**

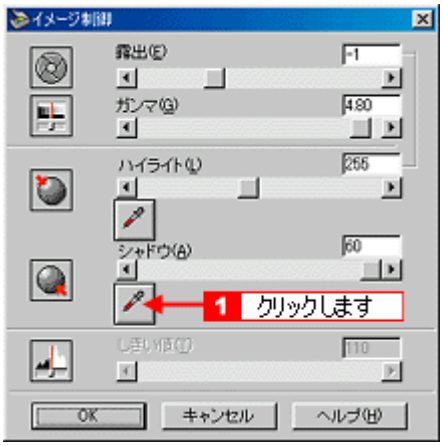
シャドウを調整しよう

シャドウは、［イメージ制御］ダイアログにて設定を行います。

1. **［イメージ制御］ボタンをクリックします。**

2. **シャドウの［スポイト］アイコンをクリックします。**

   ［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］キーを押してください。



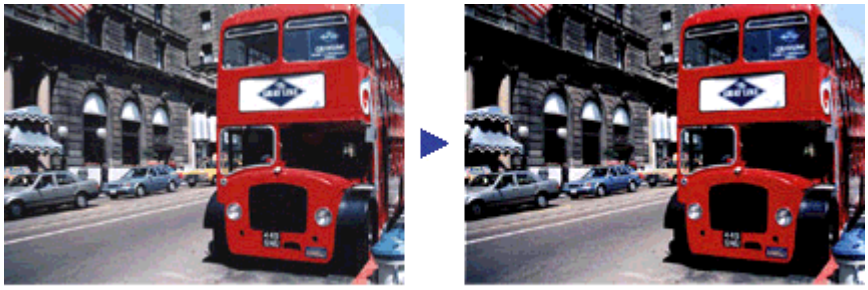
3. **画像の一番暗い部分をクリックします。**

ポイント

出力値（濃度）は 0（黒）ではなく 8（濃いグレー）になりますので、黒ベタにはなりません。（出力値は［濃度補正］ダイアログで編集可能）

4. **スライダーを左右に動かして、明るさを微調整します。**

「濃度補正」



調整前　　調整後

ポイント

- **右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。**
- **シャドウの範囲は 0 ～ 60 です。**

中間部分（ミッドトーン）を調整しよう

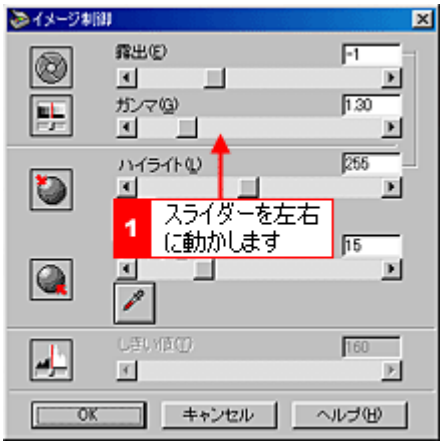
中間部分（ミッドトーン）は、［イメージ制御］ダイアログのガンマにて設定を行います。

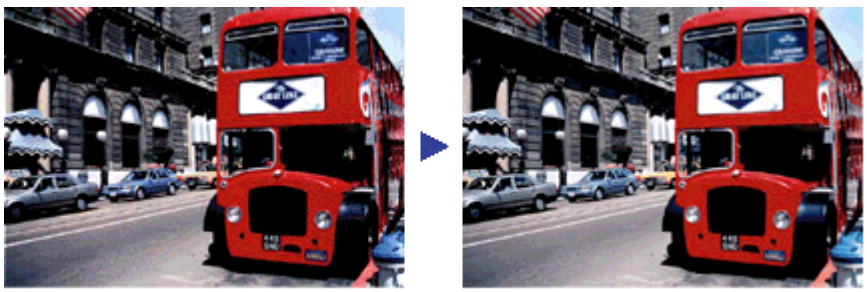
ポイント

中間部分が薄い、あるいは濃い場合に、ハイライトレベル、シャドウレベルは固定のまま、中間部分のみ調整をしますので、明るい部分や暗い部分に大きな影響を与えずに、中間部分の濃度のみを調整できます。

1. **［イメージ制御］ボタンをクリックします。**

2. **ガンマのスライドバーで中間部分（ミッドトーン）のレベルを調整します。**





ガンマ値：130　　ガンマ値：150

ポイント

- **右上のテキストボックスに数値を直接入力して、微調整することもできます。**
- **ガンマの範囲は** 0.50 ～ 5.00 **です。**

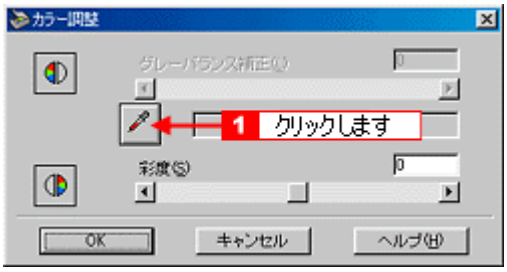
グレーバランスを調整しよう

画像に照明などの色がかぶっている場合は、グレーバランスを調整します。グレーバランスの調整値によっては、明暗が多少変化することがあります。

1. **［カラー調整］ボタンをクリックします。**

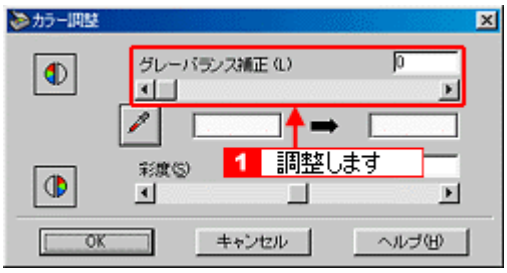
2. **グレーバランス補正の［スポイト］アイコンをクリックします。**

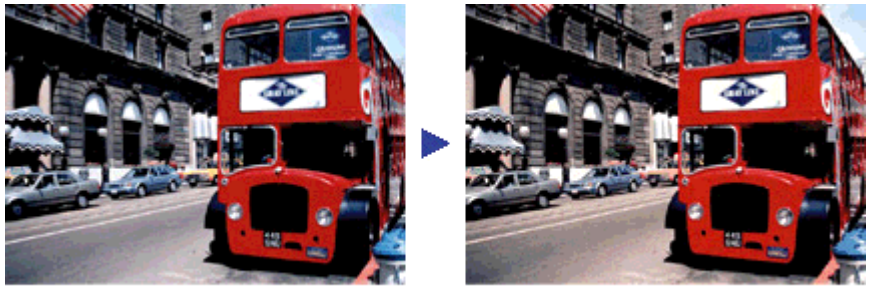
   ［スポイト］アイコンをキャンセルしたい場合は、［esc］キーを押してください。



3. **画像の本来は白黒またはグレー（無彩色）となる部分をクリックします。**

4. **スライダーを右に動かして、グレーバランスを調整します。**





調整前　　調整後

ポイント

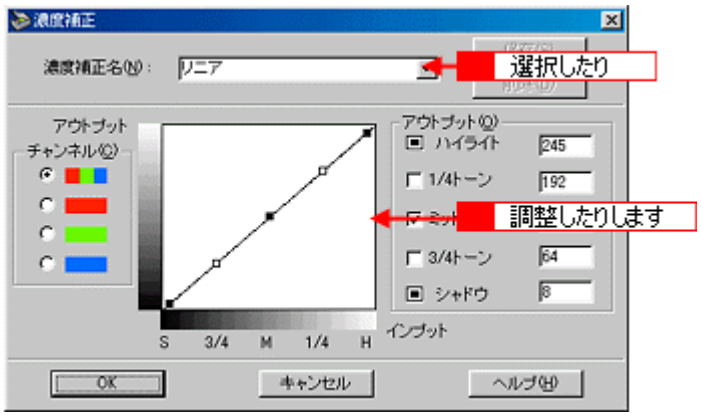
- **左側のボックスには、スポイトで選択した色が表示されます。右側のボックスには、調整された色が表示されます。**
- **右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。**
- **グレーバランスの範囲は 0 ～ 100 です。**
  数値を上げるほど、画像の「周りの色の影響（色かぶり）」を取り除くことができます。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
  0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

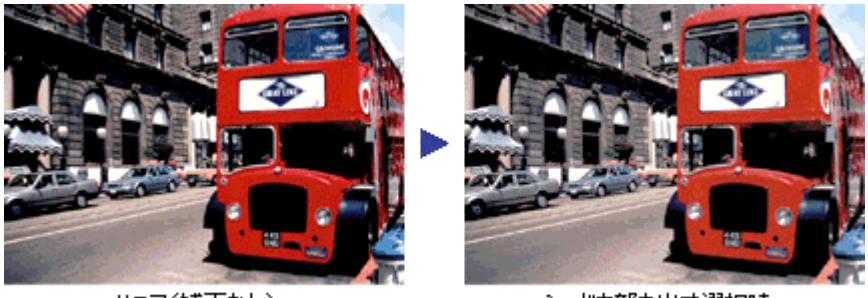
濃度を調整しよう

自動露出やイメージ制御で調整しきれない微妙な部分は、［濃度補正］で補正します。

1. ［濃度調整］ボタンをクリックします。

2. トーン曲線で追加補正したい部分を補正します。





リニア(補正なし)　　シャドウ部を出す選択時

ポイント

- 補正前の濃度に戻すには、［濃度補正名］で［リニア］を選択します。
- 露出オーバーの補正など、代表的なトーン曲線がメニューに用意されていますので、メニューから選択した後、画像にあわせて微調整することをお勧めします。
  これで明暗の調整は終了です。ここまでの調整で、ほぼ最適な画像になっているはずです。次の［レッスン 3］以降で色合いの調整方法を説明していますが、明暗調整をしっかり行えば、たいていの場合、色合いの調整は必要ありません。必要に応じて行ってください。

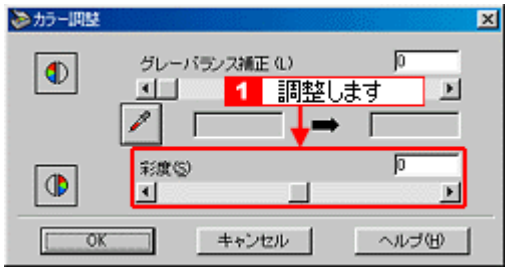
色を鮮やかにして取り込もう

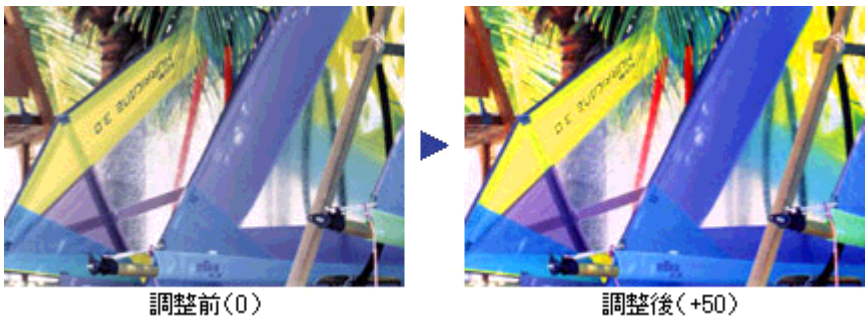
写真を取り込む場合、原稿である写真自体の色に問題がある場合があります。
ここでは、原稿に鮮やかさが足りない場合に、色合いを調整して鮮やかに取り込む方法を紹介しています。

1. TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。
2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して一通り画質の調整を行います。

   「写真をきれいに取り込もう」
3. ［カラー調整］ボタンをクリックします。

4. 彩度のスライダーを +（プラス）へ移動します。





調整前（0）　調整後（+50）

ポイント

- 右上のテキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 色の範囲は -100 ～ 100 です。設定を -（マイナス）にすると、色みがなくなり（無色彩化され）、グレーに近くなります。白黒写真風のカラー画像にして取り込むことができます。

調整前(0)　　調整後(-80)

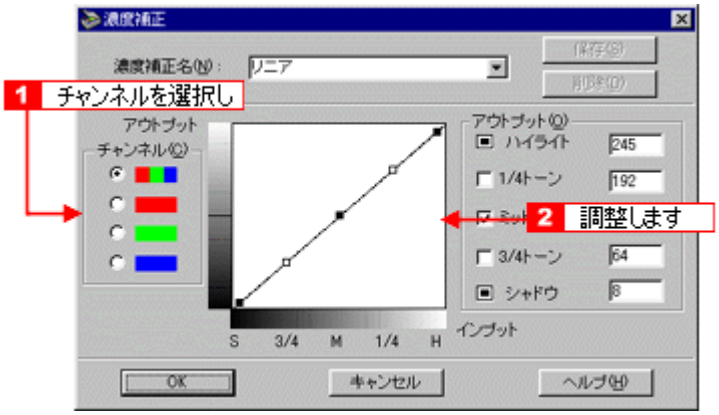
特定の色の濃度を補正して取り込もう

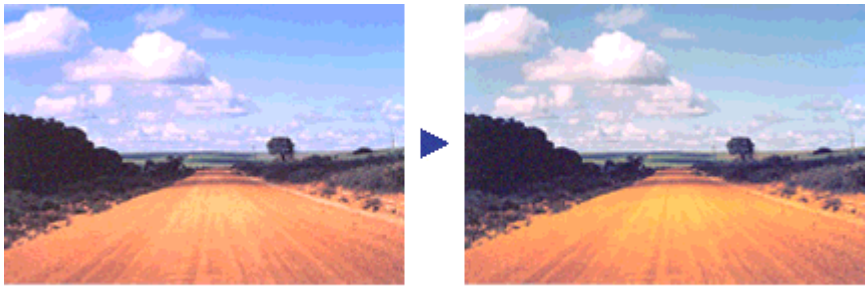
写真を取り込む場合、原稿である写真自体の色に問題がある場合があります。ここでは、写真中の色が本来の色と異なる場合に、不要な色を取り除いたり特定の色の濃度を補正する方法を紹介しています。

1. TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN （マニュアルモード）を起動します。
2. ［写真をきれいに取り込もう］を参照して一通り画質の調整を行います。

   「写真をきれいに取り込もう」
3. ［濃度補正ボタン］をクリックします。

4. 補正したい色（チャンネル）を選択し、トーン曲線を補正します。

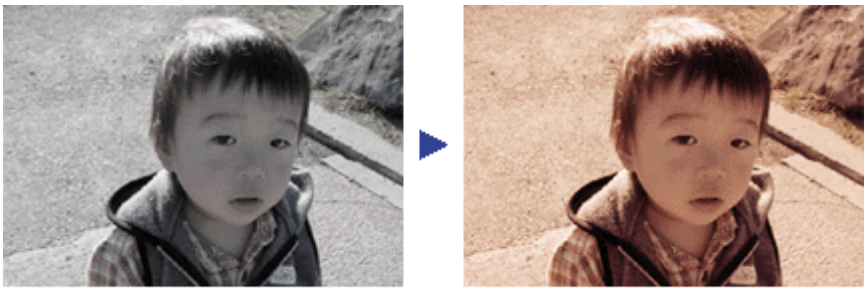




補正前　　補正後（書きを補正した例）

ポイント

画像の彩度を下げた後、R（赤）のアウトプット値を上げ、G（緑）とB（青）のアウトプット値を下げると、セピア調のカラー画像にして取り込むことができます。



調整前　　調整後

文字原稿の認識率を上げて取り込もう

文字原稿を取り込み、OCR（光学文字認識）に利用しやすいように取り込む場合は次の設定で取り込むことをお勧めします。

ポイント

付属の読んde!! ココ（OCR ソフト）からの取り込みでは、EPSON TWAIN を使わず OCR ソフト独自の取り込み画面で取り込むことができます。
詳しくは読んde!! ココ取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

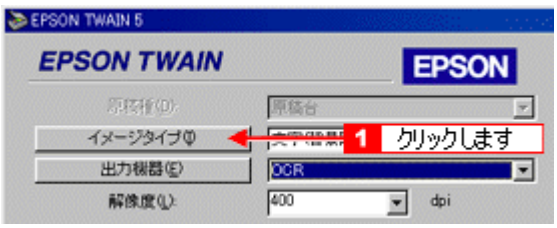
イメージタイプ・出力機器を設定する

イメージタイプを［文字（背景除去）］、出力機器を［OCR］に設定します。これにより、取り込みの各条件は次のように設定されます。

	項目	設定値
イメージタイプ	表現色	モノクロ
	品質	高品位
	モアレ除去	−
	カラースムージング	−
	自動露出オプション	−
	ドロップアウト	−
	モノクロオプション	テキストエンハスメントテクノロジ
	中間調	−
出力機器	モノクロ解像度	400dpi
	グレー／カラー解像度	400dpi

まずは、この設定で取り込んでみてください。この設定で取り込んでも認識率が良くない場合は、次の手順で［しきい値］を調整してください。

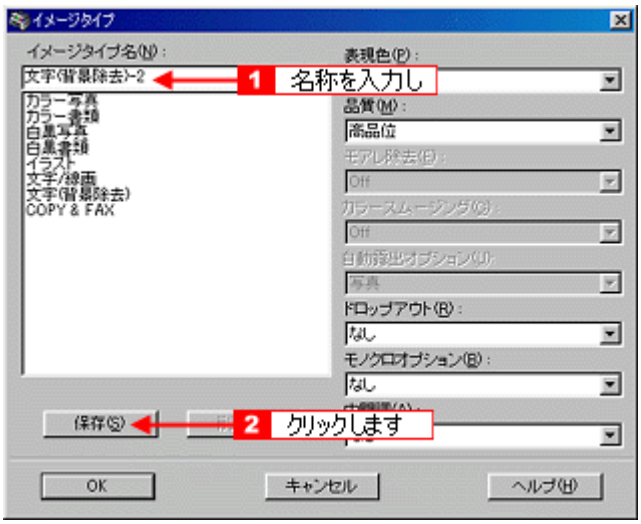
1. **イメージタイプを上記の設定にし、［イメージタイプ］ボタンをクリックします。**



2. **モノクロオプションで［なし］を選択します。**

   この設定により、しきい値を調整できるようになります。

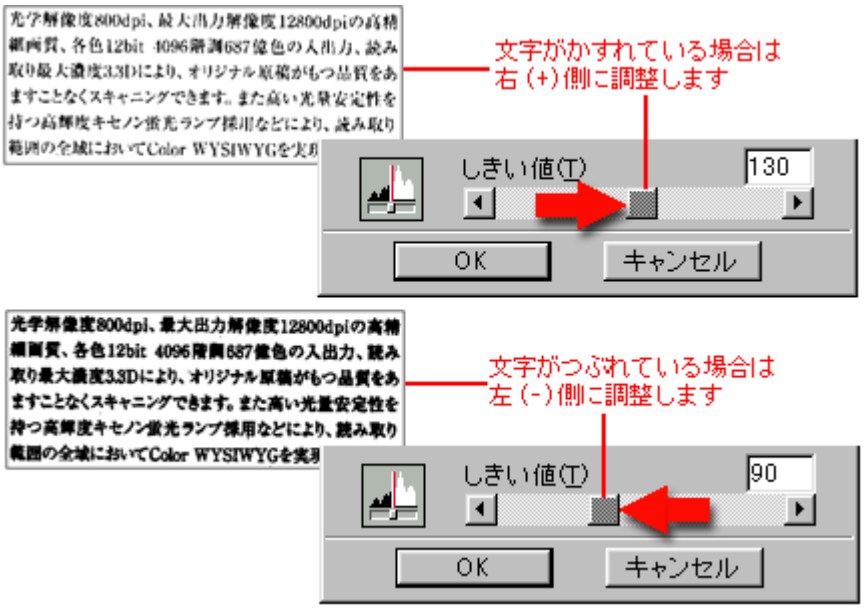
3. **イメージタイプ名に何らかの名称を入力し、［保存］ボタンをクリックします。**



4. **［OK］ボタンをクリックします。**

5. **［イメージ制御］ボタンをクリックします。**

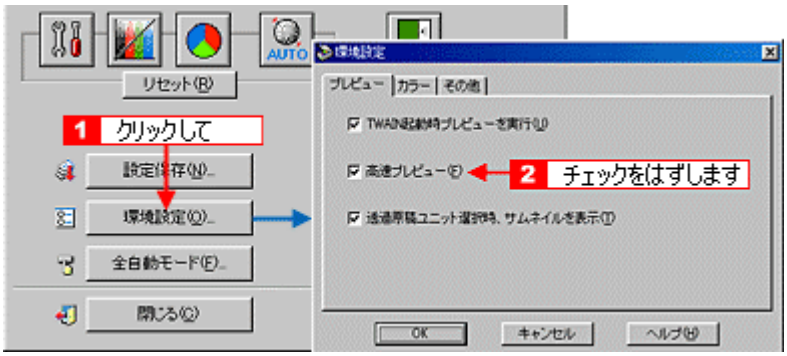
6. **プレビュー画像で効果を確認しながら、［しきい値］を調整します。**



しきい値とは、白として取り込む部分と、黒として取り込む部分の明るさの境界を決めるものです。
最適なしきい値は原稿の状態によって異なりますので、繰り返し確認しながら、最適な調整値を見つけてください。

ポイント

初期設定では、プレビューは高速の設定になっています。しきい値調整の精度を上げるには、［環境設定］ダイアログの［プレビュー］タブで［高速プレビュー］のチェックをはずしてください。プレビュー画像が高品位になりますので、ズームプレビュー画像で文字がきれいに見えるように、しきい値を調整してください。



それでも認識率が向上しないときは

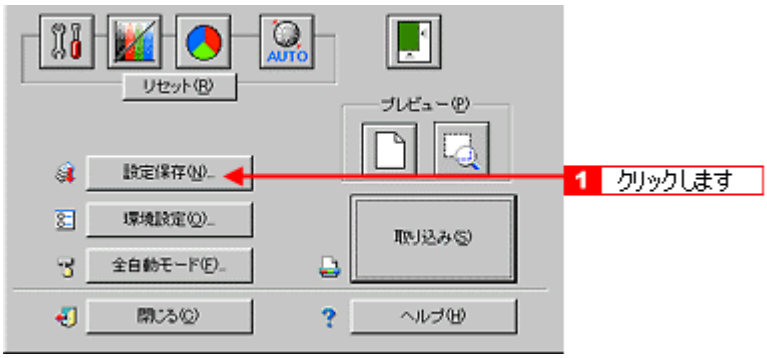
しきい値を調整しても認識率が向上しない場合は、OCR ソフト側の補正機能（かすれ補正など）を試してみてください。また、文字のフォントサイズによって認識領域を分けるなどの工夫をしてみてください。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

取り込み設定を保存しよう

取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前をつけて保存することができます。また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。

取り込み設定を保存する

1. **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定・イメージタイプや出力機器の設定・画質調整などを行います。**
2. **［設定保存］画面を表示します。**

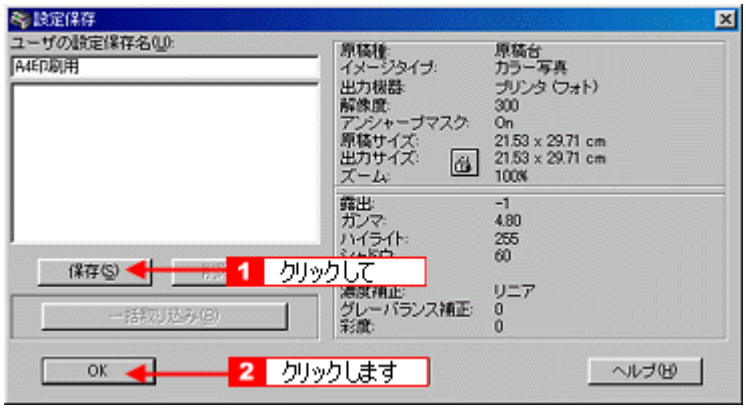


3. **取り込み設定の名称を入力します。**

ポイント

入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。

4. **［保存］ボタンをクリックし、取り込み設定を保存して［OK］ボタンをクリックします。**



ポイント

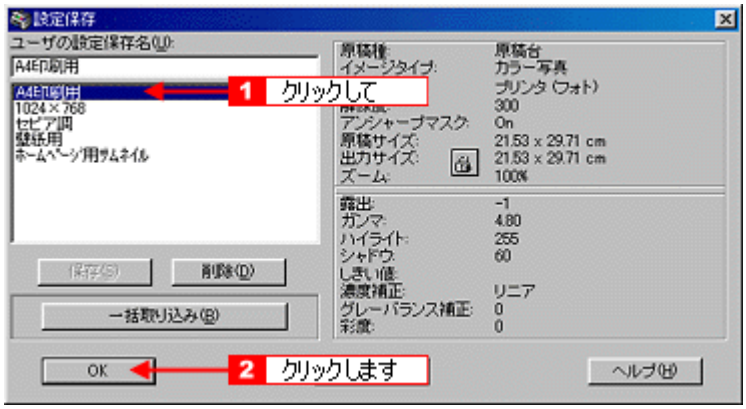
- 必ず［保存］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックしてください。
- 誤って入力した場合や、入力を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。名称は保存されません。

保存した設定を利用して取り込む

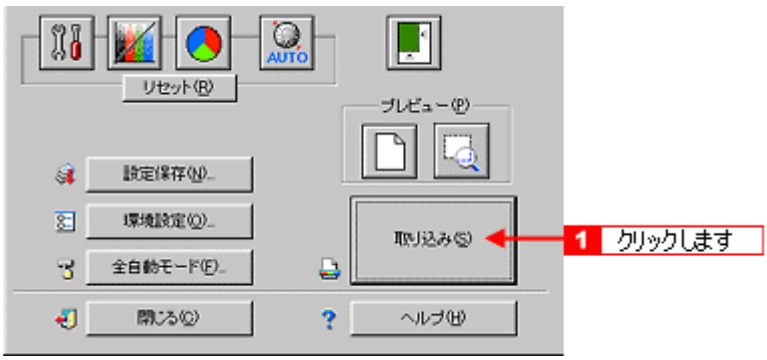
保存した取り込み設定を利用して画像を取り込みます。複数の取り込み設定を同時に利用することもできます。

1 つの設定での取り込み手順

1. **取り込みに利用する設定保存名を選択します。**

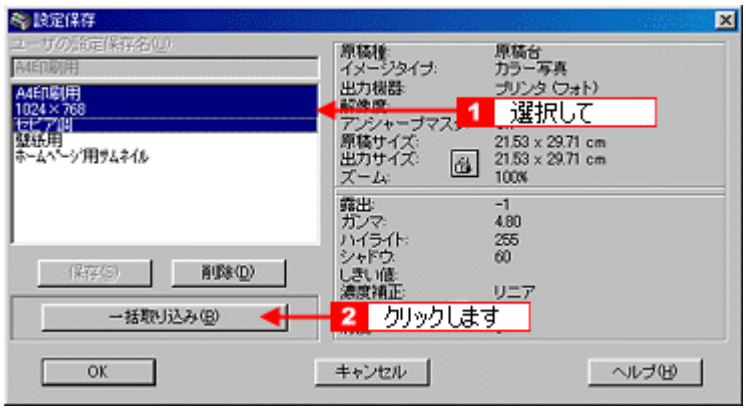


2. **［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**



複数の設定での取り込み手順

1. ［Shift］キーを押しながら複数の設定をクリックし、［一括取り込み］ボタンをクリックします。



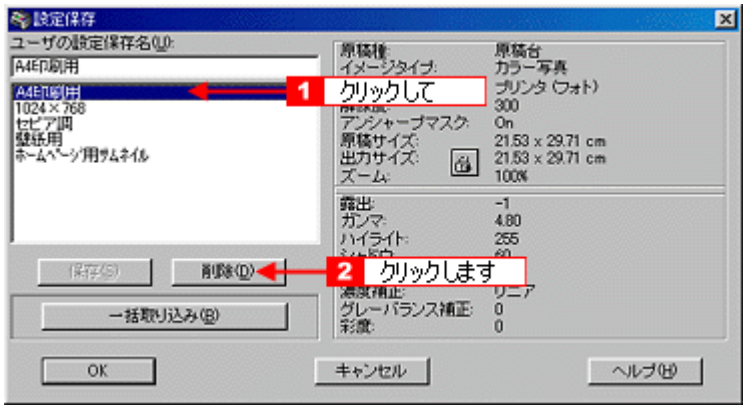
ポイント

任意の設定保存名を 1 つずつ選択するには、［Ctrl］キーを使用します。
複数の取り込みには、TWAIN 対応アプリケーションの対応が必要です。TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。

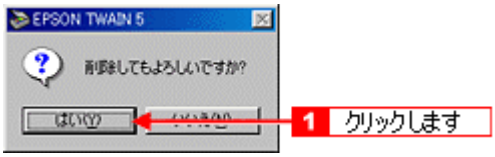
取り込み設定を削除する

保存した取り込み設定を削除します。

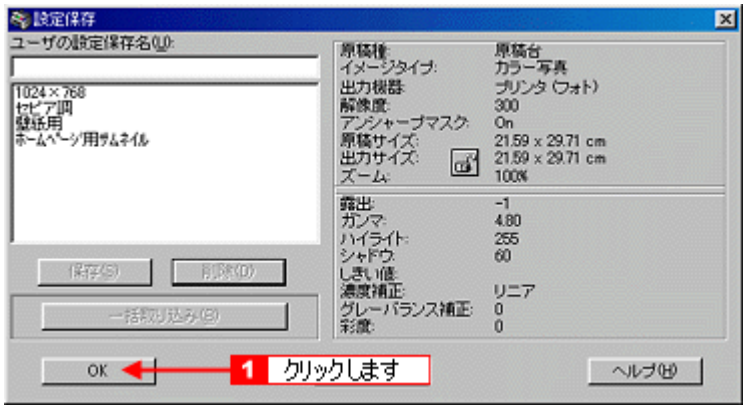
1. 削除したい設定保存名をリストから選択し、［削除］ボタンをクリックします。



2. メッセージを確認します。



3. ［OK］ボタンをクリックします。



ポイント

誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。

必要なフィルムだけを取り込もう

透過原稿を取り込む際に、必要なフィルムだけを取り込むことができます（マニュアルモードのみ）。

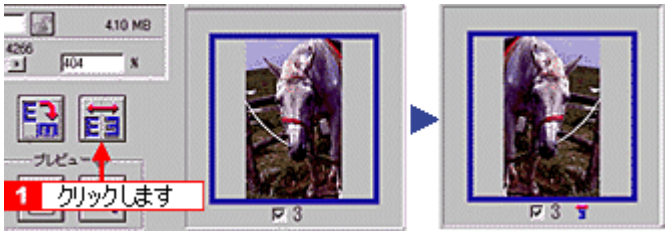
1. TWAIN 対応アプリケーションを起動し、EPSON TWAIN（マニュアルモード）を起動します。
2. プレビューされた画像の一覧から、取り込まないフィルムのチェックボックスをクリックして、チェックを外します。

ポイント

- チェックを付けるには、もう一度チェックボックスをクリックします。
- 複数取り込みに対応していない TWAIN 対応アプリケーションをお使いの場合、1 コマずつチェックを付けて取り込んでください。

3. [取り込み] ボタンをクリックします。

チェックされたフィルムが取り込まれます。

	90 度回転ボタン **このボタンをクリックするたびに、選択している画像を右（時計）方向に 90 度ずつ回転できます。**
	鏡像反転ボタン **このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。**
	

全自動モードの設定を変更しよう

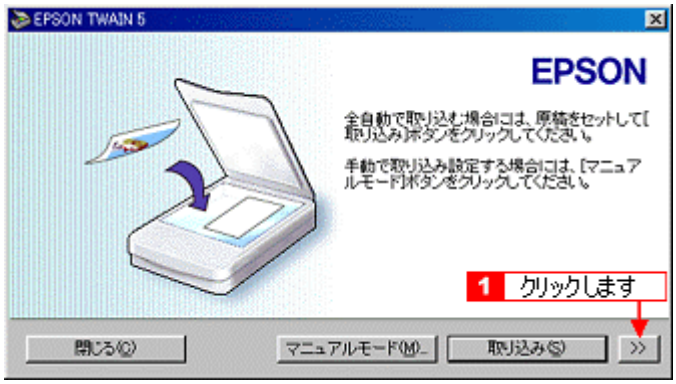
全自動モードで画像を取り込むときの原稿の種類（反射原稿 / 透過原稿）や出力の解像度をあらかじめ設定しておくことができます。

ポイント

- 全自動モードで使用する原稿種をあらかじめ限定しておくと、仮取り込み（プレビュー）の時間が短縮できます。
- 出力解像度は、反射原稿と透過原稿（フィルム）それぞれに設定できます。

1. TWAIN 対応アプリケーションで、画像取り込み（スキャン）のコマンドを選択します。
2. EPSON TWAIN が起動し全自動モードの画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンをクリックします。

3. Windows では［>>］ボタン、Macintosh では▽ボタンをクリックします。



4. 全自動モードの設定を変更し、[閉じる] ボタンをクリックします。

1	フルオートモードで用いる原稿種	全自動モードで取り込む原稿の種類（反射またはフィルム）を限定します。 チェックボックスをクリックしてから、反射またはフィルムのどちらかのラジオボタンをクリックします。
2	解像度を指定	出力の解像度を設定します。 チェックボックスをクリックしてから、解像度を選択します。 初期設定では、反射原稿と透過原稿（フィルム）の出力解像度は 300dpi に設定されています。
3	[<<] ボタン Macintosh では△ボタン	元の画面に戻ります。

ポイント

- 画像を取り込むときは、[取り込み] ボタンをクリックします。
- 「フルオートモードで用いる原稿種」の設定は、透過原稿ユニットが接続されているときのみ、変更することができます。
  また、ここで設定した原稿をセットしないと、原稿を正しく認識することができません。

取り込み範囲を調整して取り込もう

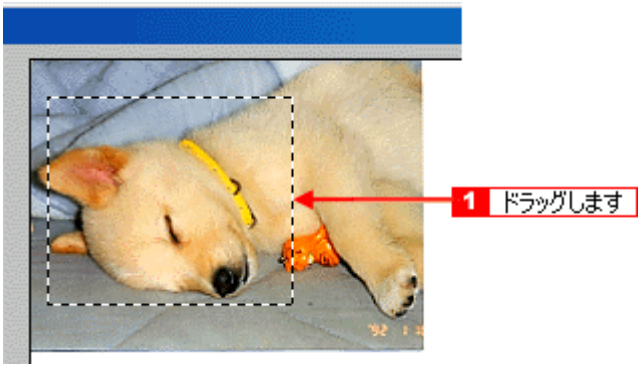
原稿の一部分だけ画像として取り込みたい場合は、プレビュー画面で範囲を指定します。

ポイント

例えば雑誌のページから写真部分だけを指定して、画像を取り込むことができます。

取り込み範囲をマウスで指定する

ドラッグして取り込み範囲を指定します。



ポイント

プレビュー画面にポインタを移動すると、ポインタの形が「+」に変わります。

取り込み範囲を数値で指定する（原稿サイズ）

取り込む画像のサイズが決まっている場合は、取り込み範囲を幅（W）と高さ（H）の数値で指定します。サイズを指定した後、取り込む位置を指定します。

1. **取り込み範囲サイズの表示単位を選択します。**

ポイント

サイズの表示単位は、「インチ」「ピクセル」「cm」次の 3 種類です。

2. **取り込み範囲のサイズを入力します。**

ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右下に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。

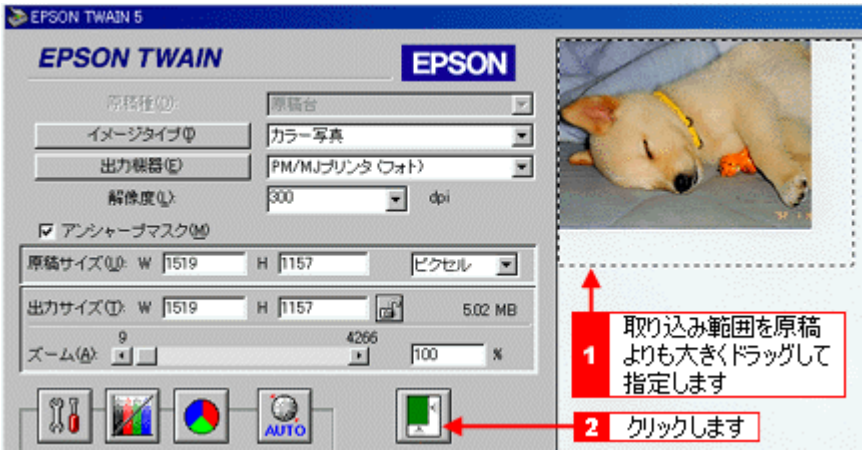
取り込み範囲を自動的に原稿に合わせる（自動範囲選択）

原稿の大きさぴったりで画像を取り込みたいときに使用する機能です。原稿よりも大きな範囲を指定して、自動範囲選択を行うと、取り込む画像の範囲だけを正確に指定できます。

ポイント

原稿カバーの裏側が汚れていると、範囲が正しく検出されない場合があります。

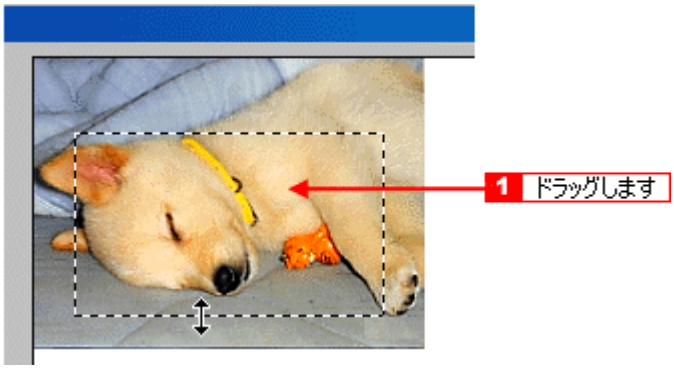
1. **原稿よりも大きな範囲を指定して、自動範囲選択を行います。**



取り込み範囲を広げる、狭める

指定した取り込み範囲を広げます。または狭めます。

1. **広げたい、または狭めたい方向の線上に、ポインタを合わせてドラッグします。**



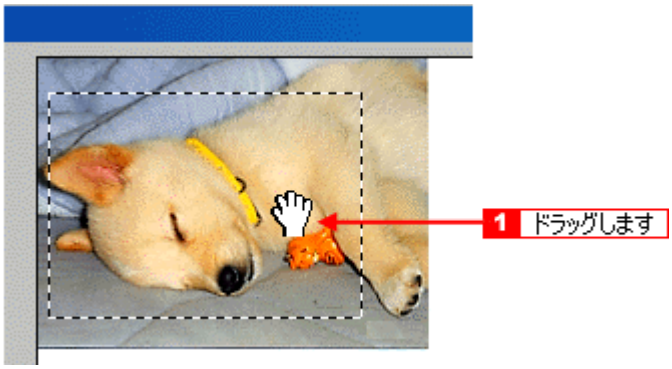
ポイント

- 取り込み範囲を指定すると、取り込み範囲の幅と高さが［原稿サイズ］に表示されます。また、画像のデータ容量が［出力サイズ］の右下に表示されます。
- 取り込み範囲を解除したい場合は、取り込み範囲の枠の中をダブルクリックします。
- 縦横比を固定するには、［SHIFT］キーを押しながらドラッグします。

取り込む位置を変更する

取り込み範囲を、別の位置に変更します。取り込み範囲のサイズは変わりません。

1. **取り込み範囲の中に、ポインタを合わせてドラッグします。**



ポイント

取り込み範囲内にポインタを移動すると、ポインタが手の形に変わります。

ドライバ&ユーティリティ

システム条件

EPSON TWAIN を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

ポイント

Windows で使用する場合は、以下の条件をすべて満たす場合にのみご使用いただけます。

- Windows 98 / Me / 2000 がプレインストールされているコンピュータ（購入時すでにインストールされているコンピュータ）、または Windows 98 がプレインストールされていて、Windows Me / 2000 にアップグレードしたコンピュータ。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ。

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	i486DX（R）66MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium（R）150MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Windows 2000

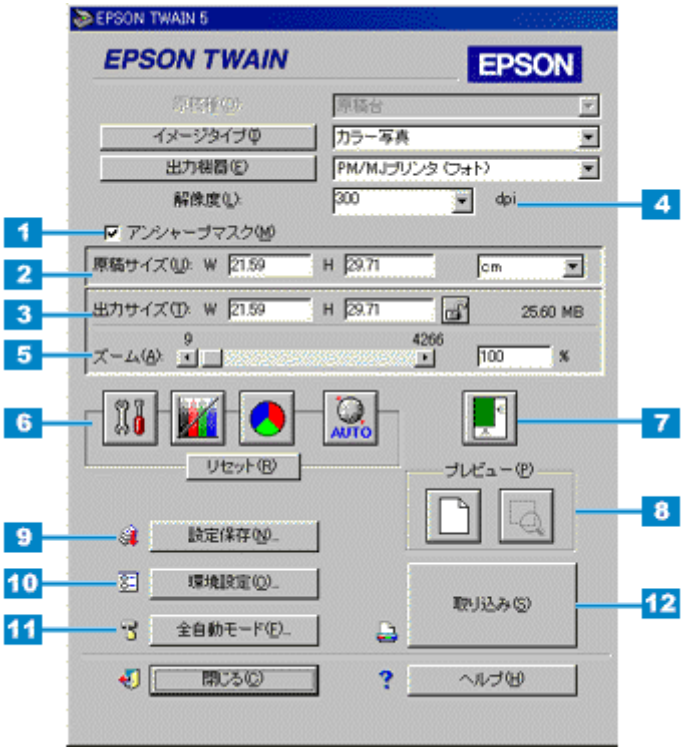
オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium（R）133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります
ディスプレイ	VGA（640 x 480）以上の解像度

Macintosh

システムソフトウェア	Mac OS 8.5 以上 /Mac OS 9.x （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	64MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量	必要な容量は、取り込みを行う画像データによって異なります。

基本設定

基本設定では、EPSON TWAIN の基本的な設定ならびにプレビュー画面の表示、取り込み範囲の指定や、取り込みを行うことができます。



1	アンシャープマスク	［アンシャープマスク］チェックボックスをチェックすると、画像をシャープにすることができます。 初期設定では、このチェックボックスはチェックされています。	
		チェックあり	チェックなし

ポイント

- **雑誌、カタログなどの印刷物の取り込みで、暗い斑点模様や虹のような模様が発生した場合は、チェックを外してください。これらの模様（モアレ）を目立たなくできます。**
- **イメージタイプを［イラスト］［文字 / 線画］［文字（背景除去）［Copy & FAX］に設定している場合、この項目はグレー表示されて無効になります。**

2	原稿サイズ	画像のサイズが幅（W）と高さ（H）で表示されます。プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに取り込み範囲のサイズが連動して表示されます。 ここに任意の数値を入力することも可能です。	
		単位	サイズの単位は、ピクセル・インチ・cm のいずれかを選ぶことができます。［出力機器］をスクリーンにしたときはピクセル、スクリーン以外にしたときは cm を選んでください。 単位を変えると、原稿サイズおよび出力サイズの数値が連動して変化します。
3	出力サイズ	通常は、プレビュー画面で取り込み範囲を指定すると、ここに出力サイズが連動して表示されます。ズームの設定が 100% のときは、原稿サイズと同じ数値が表示されます。 原稿サイズの単位を変えると、この数値も連動して変化します。	
		ロックボタン	このボタンをクリックして出力サイズをロックすると、出力サイズ固定のままで、取り込み範囲を拡大 / 縮小できます。このとき、縦横比は維持されるとともに、ズームの設定が連動して変化します。
4	解像度	解像度の設定を一時的に変更します。取り込み後の画像ファイルの解像度が、ここに表示されている数値になるように取り込みます。通常、ここに表示されている数値は、［出力機器］の設定で自動的に決まります。しかし一時的に解像度を変えて画像を取り込みたい場合に、ここで解像度を変更することができます。 解像度を何千 dpi まで上げると、データ転送の規格上の制限等により、取り込み可能サイズに制限が生じます。そのため、以下のケースではエラーメッセージが表示され、取り込みができない場合があります。 ・ 取り込む範囲が大きすぎる場合。 この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲を小さくしてください。 ・ 取り込む範囲が本機の原点（プレビュー画面の左上）から離れている場合。 この場合は、解像度を下げるか、原稿を原点近くに置いてください。 ・ 取り込む範囲の横幅が広すぎる場合。 この場合は、解像度を下げるか、取り込む範囲の横幅を狭めてください。	
		保存サイズ	ここには、出力サイズなどに従って画像を取り込み、保存したときの容量の目安（BMP ファイルでの保存サイズ）が表示されます。 保存形式によってはサイズが異なります。（JPEG 形式で圧縮した場合など）

ポイント

- リストの中に最適な解像度がない場合は、50 ～ 4800dpi の範囲で、任意の数値を 1dpi 刻みで入力（上書き）することができます。
（解像度を上げると、出力サイズの［ズーム］の値が制限されます。）
- この設定は、次に EPSON TWAIN を起動したときには元の設定に戻っています。設定した解像度を保存したい場合は、［出力機器］ボタンをクリックし、出力機器を新規登録してください。

5	ズーム	スライドバーまたは［矢印］ボタンにより、拡大率 / 縮小率を 1%刻みで設定できます。なお、解像度を上げると、ズームの設定が 100%以上にできない場合があります。

<table>
<tr><td rowspan="6">6</td><td rowspan="6">調整ボタン</td><td> </td><td>イメージ制御ボタン
クリックすると［イメージ制御］ダイアログを表示します。
「イメージ制御」</td></tr>
<tr><td> </td><td>濃度補正ボタン
クリックすると［濃度補正］ダイアログを表示します。
「濃度補正」</td></tr>
<tr><td> </td><td>カラー調整ボタン
クリックすると［カラー調整］ダイアログを表示します。
「カラー調整」</td></tr>
<tr><td rowspan="3"> </td><td>自動露出ボタン
プレビュー画面中の、取り込み範囲内の露出（明暗）を自動調整します。自動露出を実行すると、［イメージ制御］のハイライト（露出も連動）/ シャドウ / ガンマが自動的に調整されます。これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。

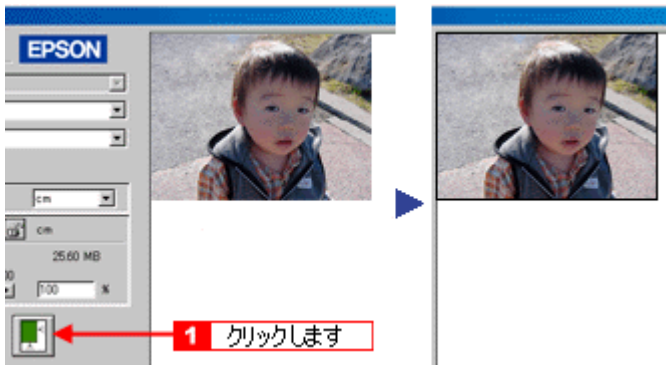
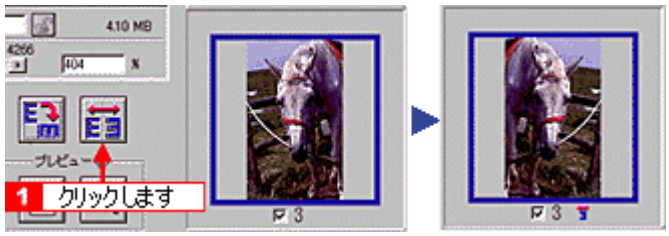
実行前 実行後
自動露出が苦手なケース
原稿に白や黒の部分がない場合は、［イメージ制御］のハイライト / シャドウ / ガンマなどで明暗を調整してください。自動露出では、取り込み範囲内の最も明るい部分を白に近く、暗い部分を黒に近くします。そのため、原稿に白い部分がない場合は全体が明るくなりすぎたり、黒い部分がない場合は全体が暗くなりすぎたりして適切な画像にならない場合があります。

本来の画像 自動露出で明るくなりすぎた画像</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td>全ての調整結果を、プレビュー後の画像に戻します。</td></tr>
</table>

ポイント

- **初期設定では、全面およびズームプレビュー後に自動露出調整が行われますので、基本的に、［自動露出］ボタンによる調整は不要です。［自動露出］ボタンは、次のときに使用してください。**
- **［イメージ制御］ダイアログなどで画質を調整したあと、［リセット］ボタンにより調整前の状態に戻した場合。このとき、露出調整もリセットされますので、まず［自動露出］ボタンを使用して調整し直してください。**
- **ズームプレビューしない場合。この場合は画像全面での露出調整になりますので、取り込み範囲内での露出は必ずしも適切にはなりません。そのため、［自動露出］ボタンをクリックするか、またはズームプレビューによって露出調整してください。**

- **プレビュー後に自動露出調整を行うかどうかは、［環境設定］ダイアログで設定できますが、通常は設定を変えないことをお勧めします。**
- **イメージタイプを［文字（背景除去)］［文字 / 線画］に設定している場合、このボタンはグレー表示され、調整できません。**

7	**自動範囲選択（反射原稿の場合）**		**自動範囲選択ボタン** **このボタンをクリックすると、原稿の配置を認識して、取り込み範囲を自動選択できます。**
			
			原稿に複数の画像がある場合は、取り込みたい画像のだいたいの位置をマウスでドラッグして選択してから、［自動範囲選択］ボタンをクリックします。 **そうすることにより目的の範囲をより簡単に選択することができます。**
	回転 / 反転（透過原稿の場合）		90 **度回転ボタン** **このボタンをクリックするたびに、選択している画像を右（時計）方向に** 90 **度ずつ回転できます。**
			鏡像反転ボタン **このボタンをクリックすると、選択している画像を左右に鏡像反転できます。**
			

<table>
<tr><td rowspan="3">8</td><td rowspan="3">プレビュー</td><td> </td><td>プレビューボタン
本機の原稿台の全範囲をプレビューし、プレビュー画像を表示します。
プレビュー画像は、イメージタイプ・出力機器の設定によって色数などが変わります。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td></tr>
<tr><td>
（反射原稿の場合）

（透過原稿の場合）</td><td>ズームプレビューボタン
取り込み範囲を再プレビューし、ズーム表示します。細かい部分を確認したいときに便利です。
透過原稿の場合、このボタンを押すと選択されている画像が拡大表示されまれ、アイコンがプラス（＋）からマイナス（－）表示に変わります。
 </td></tr>
<tr><td>9</td><td>設定保存</td><td colspan="2">クリックすると［設定保存］ダイアログを表示します。
取り込み範囲・出力機器・画質調整などの設定をひとまとめにして、名前をつけて保存する場合に使用します。
また、保存した設定を複数選択して、それぞれの設定で一括取り込みすることができます。
「設定保存」</td></tr>
<tr><td>10</td><td>環境設定</td><td colspan="2">クリックすると［環境設定］ダイアログを表示します。
EPSON TWAIN の動作環境などを設定する場合に使用します。
「環境設定」</td></tr>
<tr><td>11</td><td>全自動モード</td><td colspan="2">原稿台にセットした原稿のタイプを自動認識してタイプに合った設定で取り込む「全自動モード」に切り替わります。
「全自動モードの設定を変更しよう」</td></tr>
<tr><td>12</td><td>取り込み</td><td colspan="2">取り込みを実行します。</td></tr>
</table>

取り込み範囲の指定

反射原稿をプレビューした後は、取り込み範囲またはズームプレビューする範囲をプレビュー画像で指定します。

＋	**カーソルが＋のときに、取り込む範囲をドラッグして指定します。**
↕	**カーソルを取り込み範囲の線上に移動すると矢印の形になります。このとき、取り込み範囲をドラッグにより拡大 / 縮小できます（縦横比を維持するには** Shift **キーを押しながらドラッグします）。**
✋	**カーソルを取り込み範囲の中に移動すると手の形になります。** **このとき、取り込み範囲をドラッグにより移動できます（縦横比を維持するには** Shift **キーを押しながらドラッグします）。**

イメージタイプ

［イメージタイプ］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

イメージタイプ別の特長

イメージタイプ別の特長は、次の通りです。

イメージタイプ名	特長
カラー写真（48bit）	48bit で取り込みます。フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後に発生する階調飛びを少なくできるメリットがあります。
カラー写真	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
カラー書類	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー写真での取り込みでモアレパターンが発生した場合に選んでください。なお、モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、取り込みに少し時間がかかります。
白黒写真（16bit）	16bit で、白黒写真のように取り込みます。フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った後に発生する階調飛びを少なくできるメリットがあります。
白黒写真	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。白黒写真の場合、通常はこの設定で十分な画質が得られます。
白黒書類	256 階調で、白黒に取り込みます。白黒写真での取り込みでモアレパターンが発生した場合に選んでください。なお、モアレ除去はソフトウェアで処理しますので、取り込みに少し時間がかかります。
イラスト	1677 万色のカラーで取り込みます。グラフ、ロゴ、地図などの取り込みに適しています。
文字 / 線画	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータで取り込みます。
文字 (背景除去)	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒 2 値（白か黒）のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。
COPY & FAX	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒 2 値、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。

定義済みのイメージタイプ

イメージタイプは、以下の設定があらかじめ定義されています。通常は既存のイメージタイプ名を選択するだけで、最適な設定ができます。

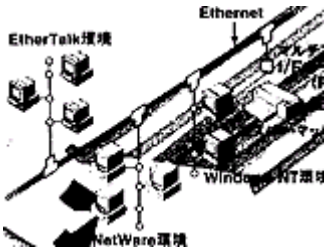
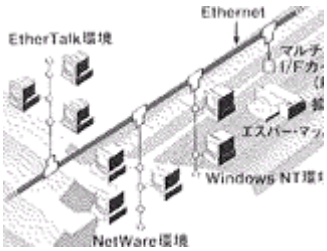
イメージタイプ名	表現色	品質	モアレ除去	カラースムージング	自動露出オプション	ドロップアウト	モノクロオプション	中間調
カラー写真（48bit）	48bitカラー	高品位	Off	–	写真	–	–	–
カラー写真	24bitカラー	高品位	Off	Off	写真	–	–	–
カラー書類	24bitカラー	高品位	On	Off	書類	–	–	–
白黒写真（16bit）	16bitグレー	高品位	Off	–	写真	なし	–	–
白黒写真	8bit グレー	高品位	Off	–	写真	なし	–	–
白黒書類	8bit グレー	高品位	On	–	書類	なし	–	–
イラスト	24bitカラー	高品位	Off	On	書類	–	–	–
文字／線画	モノクロ	ドラフト	–	–	–	なし	なし	なし
文字（背景除去）	モノクロ	高品位	–	–	–	–	テキストエンハンスメントテクノロジ	–
COPY & FAX	モノクロ	ドラフト	–	–	書類	–	オートエリアセグメンテーション	中間調 A（硬調）

ポイント

- ［イメージタイプ］で［イラスト］［文字 / 線画］［文字（背景除去）］［COPY&FAX］を選択した場合は、［アンシャープマスク］を設定できません。
- 次の場合は、［イメージタイプ］の［イラスト］を選択しないでください。
  - カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合
  - グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合

  TWAIN 対応アプリケーションが各色 16bit 以上での入力に対応していない場合は、24bit カラーまたは 8bit グレーで取り込んでください。なお、ディスプレイ上では 24bit カラーまたは 8bit グレーとの違いは分かりません。（OS、ディスプレイアダプタが対応できないため）
  TWAIN 対応アプリケーションが各色 16bit 以上での入力に対応しているかどうかは、TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書で確認するか、またはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

各項目の説明

<table>
<tr><td rowspan="6">1</td><td rowspan="6">表現色</td><td colspan="2">取り込む色数（カラー、モノクロ）を、以下の中から選択します。</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>48bit カラー（約 281 兆 5 千億色）</td><td>24bit カラー（1,677 万色）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>16bit グレー（65,536 階調）</td><td>8bit グレー（256 階調）</td></tr>
<tr><td> 
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>モノクロ（線画の場合）</td><td>モノクロ（COPY&FAX の場合）</td></tr>
</table>

ポイント

48bit 入力について

48bit カラーで取り込んでも、24bit カラーで取り込んでも、ディスプレイ上では違いは分かりません。これは、ディスプレイが 24bit（1,677 万色）までしか表示できないためです。

しかし、見た目には違いが分からなくても、48bit カラーで取り込んだ画像はデータ量が豊富です。フォトレタッチソフトでレベル補正などを行った場合、通常、階調飛びなどの画質の劣化が起こりますが、48bit カラーで取り込んだ画像は、元々の階調表現が豊富なため、24bit カラーで取り込んだ画像よりも、劣化を少なくすることができます。

2	品質	取り込みの品質を設定します。高品位とドラフトを選択できます。	
		高品位	ドラフト
		画質優先で画像を取り込みます。	速度優先で画像を取り込みます。

ポイント

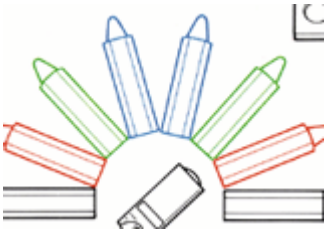
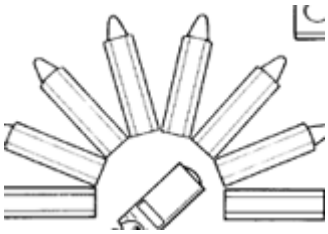
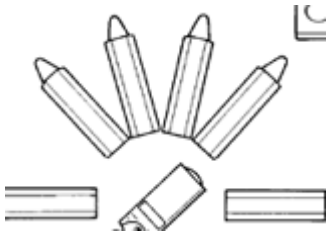
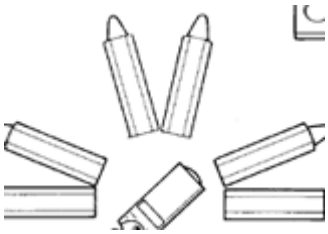
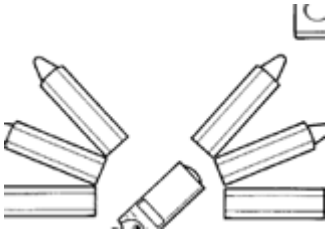
イメージタイプ名を［文字／線画］に設定して文字原稿を取り込むときは、高品位の設定のまま取り込んでください。ドラフトに設定すると、文字の認識率が下がります。

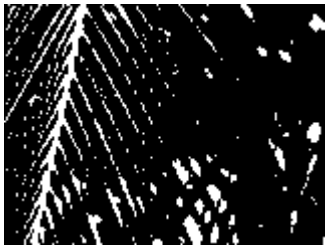
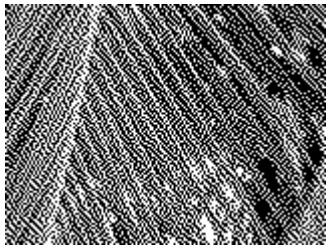
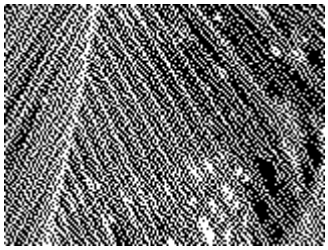
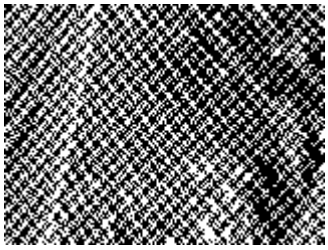
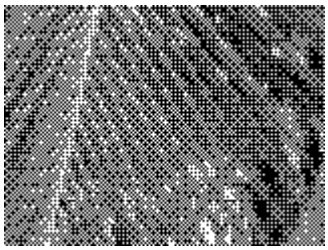
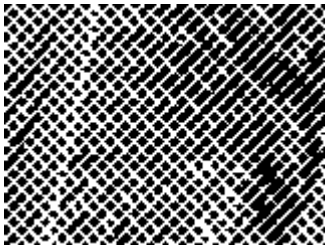
3	モアレ除去	印刷物（雑誌、カタログなど）の取り込みで発生する、モアレパターンの発生を防止できます。 モアレとは、網目状などに発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。	
		On	Off

ポイント

- **モアレ発生を防ぐには、この機能を利用する前に、まず［アンシャープマスク］のチェックを外すことをお勧めします。理由は次の通りです。**
  ［アンシャープマスク］のチェックを外すだけでも、モアレが目立たなくなります。
  ［モアレ除去］はソフトウェアで処理するため、チェックすると取り込みに時間がかかります。特に、モアレ発生の原理上、300dpi 以上の高解像度での取り込みでは、取り込みに時間がかかるだけで効果はあまりありません。この機能は、150dpi での取り込みで最も効果があります。
  「基本設定」
- **画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、画像をディスプレイ上で 100%（1:1）で表示して確認してください（縮小表示すると画像が荒くなってモアレが発生しているように見えるため）。**

4	カラースムージング	カラー原稿を、特定の色に減色（割り当てて）取り込みます。近似色は 1 つの色に割り当てられるため、色数の少ないグラフ、ロゴ、地図などの取り込みで色ムラを発生させません。ただし、カラー写真をフルカラーで取り込みたい場合や、グラデーションや近似色を正確に取り込みたい場合は、この機能を使用しないでください。
5	自動露出オプション	原稿タイプを選択すると、選択したタイプに適した露出の調整が自動的に行われます。

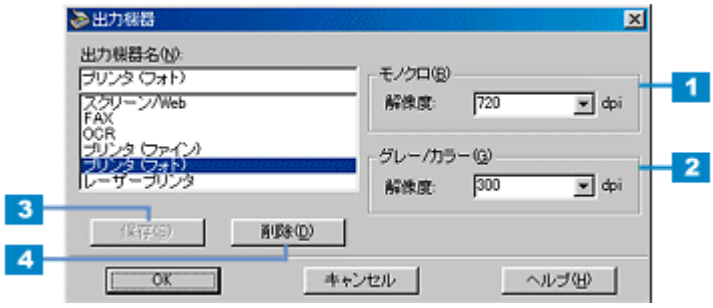
<table>
<tr><td>6</td><td>ドロップアウト</td><td colspan="2">通常は設定を変更する必要はありません。
表現色がモノクロ、グレーの場合に、ドロップアウトカラー（取り込まない色）を設定できます。なし・赤・緑・青から選択します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">元の画像</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>なし</td><td>赤</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>緑</td><td>青</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">画像によっては、緑または青がきれいに消えない場合があります。その場合は、［イメージ制御］ダイアログの［しきい値］を調整してください。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>モノクロオプション</td><td colspan="2">イメージタイプを、［文字／線画］［文字（背景除去）］［COPY&FAX］のいずれかに設定した場合に、TET（背景除去機能）と AAS（自動領域分離機能）を使用するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>テキストエンハンスメントテクノロジ（TET）</td><td>オートエリアセグメンテーション（AAS）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>表現色がモノクロのときに、画像の濃淡を判断するしきい（白黒の境）値を自動的に調整する機能です。この機能を使用すると、文字の背景に色がついている場合でも、文字のみを抽出して取り込むことが可能です。
なお、TET を有効にすると、イメージ制御・カラー調整・濃度補正・自動露出調整は無効になります。</td><td>表現色がモノクロのときに、文字と画像が混在している原稿でも、文字部分はモノクロで、画像部分は中間調処理をして取り込むことができます。FAX やコピー用の画像に適しています。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>8</td><td>中間調</td><td colspan="2">通常は設定を変更する必要はありません。
表現色がモノクロの場合（OCR 除く）に、中間調を擬似的に表現できます。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">元の画像</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>なし</td><td>中間調 A（硬調）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>中間調 B（軟調）</td><td>中間調 C（網点）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>ディザ A（ベイヤー）</td><td>ディザ B（渦巻）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td> </td><td>  </td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>ディザ C（4 × 4 網点）</td><td>ディザ D（8 × 4 網点）</td></tr>
</table>

9	**保存ボタン**	**設定内容を保存・登録します。** **1）変更したいイメージタイプ名をリストから選びます。** **新たなイメージタイプ名として登録する場合は、「イメージタイプ名」テキストボックスに、新規名称を入力（上書き）します。** **※入力できる文字数は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以内です。** **2）各項目を設定します。** **3）設定が終了したら、［保存］ボタンをクリックします。** **必ず、［保存］ボタンをクリックして登録してください。［OK］ボタンでは、設定した内容は登録されません。** **4）［OK］ボタンをクリックします。登録が実行され、ダイアログボックスが閉じます。** **誤って登録した場合や、登録を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。登録は実行されません。**
10	**削除ボタン**	**イメージタイプ名を削除します。** **1）削除したいイメージタイプ名をリストから選びます。** **2）［削除］ボタンをクリックします。** **3）確認画面が表示されるので、よければ［はい］ボタンをクリックします。** **4）［OK］ボタンをクリックします。削除が実行され、ダイアログボックスが閉じます。** **誤って削除した場合や、削除を取り消したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。削除は実行されません。**

出力機器

［出力機器］ボタンをクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。出力機器は、解像度の設定に名前を付けたものです。



定義済みの出力機器

出力機器は、いくつかの設定があらかじめ定義されています。通常は既存の出力機器名を選択するだけで、出力機器に最適な解像度に設定されます。

出力機器名	解像度		説明
	モノクロ	グレー / カラー	
スクリーン / Web	Windows：96dpi Macintoch：72dpi		壁紙などのディスプレイ表示用や、ホームページ用画像の取り込みにお使いください。
FAX	200dpi		FAX 送信用画像の取り込みにお使いください。
OCR	400dpi		文字原稿の取り込み（OCR）にお使いください。
PM / MJプリンタ（ファイン）	360dpi	150dpi	EPSON PM / MJ シリーズのプリンタでファイン印刷する場合にお使いください。
PM / MJプリンタ（フォト）	720dpi	300dpi	EPSON PM/MJ シリーズのプリンタでフォト / スーパーファイン印刷する場合にお使いください。
レーザープリンタ	600dpi	200dpi	レーザープリンタで印刷する場合にお使いください。

各項目の説明

1	モノクロ	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］がモノクロの場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
2	グレー/ カラー	［イメージタイプ］ダイアログの［表現色］がカラー又はグレーの場合に、ここで選択した解像度が有効になります。	
		96dpi の画像（拡大）	300dpi の画像（拡大）